

東備西播定住自立圏共生ビジョン

(令和 2 ～ 6 年 度)

検証シート

東備西播定住自立圏形成推進協議会

事業報告書（令和２～６年度）

目 次

1	生活機能の強化に係る政策分野	1
ア	医療	1
	（ア）地域医療の連携	1
イ	教育	6
	（ア）生涯学習の推進	6
	（イ）学校給食の広域連携	30
ウ	産業振興	32
	（ア）地産地消の推進及び地域ブランドの発掘	32
	（イ）観光振興の推進	34
	（ウ）鳥獣害防止総合対策	37
	（エ）企業誘致の推進	38
2	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	41
ア	地域公共交通	41
	（ア）地域公共交通ネットワークの構築	46
イ	ICT インフラ整備	46
	（ア）地域情報ネットワークシステムの構築	46
ウ	地域内外の住民との交流・移住促進	47
	（ア）住民交流	47
	（イ）移住の促進	56
3	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	63
ア	圏域内の職員等の交流	63

1 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

(ア) 地域医療の連携

○取組の内容

圏域の中核的病院である赤穂市民病院を中心として、圏域内の公立病院等が連携を図り、医療体制の確保、充実に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を赤穂市と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を設置し、運営する。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を上郡町と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を上郡町と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市及び赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を備前市及び赤穂市と連携して運営する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	京都大学等から大学教授を招へいし、4公立病院（赤穂市民病院、備前病院、日生病院、吉永病院）及び圏域内の民間医療機関の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行う。					
効果	公立病院及び圏域内の民間医療機関の医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計
	167,056	265,151	—	13,145	300,000	745,352
令和2年度事業の内容						
公開学術講演会の開催 講演者：岡山大学学長 榎野 博史 氏 内容：次世代育成がカギとなる、地域医療のあるべき姿とは 日時：令和2年11月25日（水） 午後6時30分～ 場所：リフレッサーびぜん 参加者：89名						
令和3年度事業の内容						
公開学術講演会の開催 （第1回） 講演者：社会医療法人誠光会 会長 柏木 厚典 氏						

内 容 : 赤字病院からのV字脱却を検証する ～赤穂市民病院の経営改善は可能か?～ 日 時 : 令和4年3月25日(金) 午後5時30分～ 場 所 : 赤穂市民病院 参加者 : 72名 (第2回) 講演者 : 松阪市民病院 総合企画室副室長 世古口 務 氏 内 容 : 意識改革とチーム医療による経営改善 日 時 : 令和4年3月28日(月) 午後5時10分～ 場 所 : 赤穂市民病院 参加者 : 89名
令和4年度事業の内容
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
令和5年度事業の内容
公開学術講演会の開催 講演者 : 兵庫医科大学医学部総合診療内科学 主任教授 新村 健 内 容 : 超高齢社会において総合診療医が取り組むべき課題 ～フレイルとマルチモビディティ～ 日時 : 令和6年3月13日(月) 午後6時～午後7時 場所 : 赤穂市民病院 参加者 : 50人
令和6年度事業の内容
公開学術講演会の開催 講演者 : 川崎医科大学附属病院消化器内科学 教授 吉田 浩司 内 容 : 未定 日時 : 令和6年8月29日(木) 午後6時～午後7時 場所 : 赤穂市民病院 参加者 : 50人
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応
地域の医療資源の有効活用を図ることを目的に、大学病院と連携を図り、医師の派遣、交流を通して、住民にとって、適切な医療を受けることができる環境を整備する。
達成状況
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中
今後の方向性
☐ 継続(拡充) ☒ 継続(現状維持) ☐ 継続(改善) ☐ 継続(縮小)
☐ 継続(統合) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了

事業費【見込】 (千円)	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
	300	300	300	300	300	2,500
重要事業評価 指数 (KPI)	講演会参加者数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				50 人	100 人	

事業名	看護職員教育研修支援事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	看護職員の教育研修に必要なシミュレータ（手技訓練のための実物モデル）等の教育機材を購入し、4 公立病院（赤穂、備前、日生、吉永）の新人を中心とした看護職員の技術取得、レベルアップを図る。					
効果	看護職員は全国的にも確保が困難な状況であり、採用後の離職防止対策は重要な課題である。中でも看護技術の取得は一朝一夕にできるものではなく、現場のみならず様々な教育機材を活用したトレーニングが有効である。このため、教育機材を設置し、4 公立病院の看護職員の技術取得、レベルアップをはかることにより、離職防止にもつなげていく。なお、教育機材は新人のみならず、在家庭の看護師の再就職の際にも非常に効果があることから、確保対策としても期待できる。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	493,372	487,080	489,170	497,090	500,000	2,466,712
令和 2 年度 事業 の 内 容						
看護職員用教育機材を購入 研修用シミュレータ ・ 注射パッド 204,512 円 ・ 点滴・採血トレーナー 250,580 円 ・ 皮膚・静脈セット修繕 38,280 円 合計 493,372 円						
令和 3 年度 事業 の 内 容						
看護職員用教育機材を購入 研修用シミュレータ ・ 採血・静脈シミュレータ (1 式) 193,000 円 ・ 前腕正中皮静脈部注射パッド (2 個組) (5 組) 63,000 円 ・ 手背静脈部注射パッド (2 個組) (5 個) 59,000 円 ・ 注射パッド (2 個組) (5 組) 116,200 円 小 計 431,200 円 消費税 43,120 円 合 計 474,320 円						
研修用事務機器 ・ インクジェットプリンター (1 台) 11,600 円 消費税 1,160 円 合 計 12,760 円						
総合計					487,080 円	

令和4年度事業の内容			
看護職員用教育機材を購入			
○研修用シミュレータ			
・気道管理モデル 交換用舌	1個		8,500円
・手背静脈部注射パッド(2個組)	5個		59,000円
・注射パッド 半透明 (2個組)	10組		238,000円
小計			305,500円
消費税			30,550円
合計			336,050円
○研修用事務機器			
・ミニカート	1台		108,000円
・ワンハンド電子血圧計 レジーナⅢ	1台		12,500円
・サーフィンPO・プラス	1台		12,000円
小計			132,500円
消費税			13,250円
合計			145,750円
○研修用消耗品			
・マイコスワンハンド 駆血帯(ブルー)	2本		2,680円
・マイコスワンハンド 駆血帯(レッド)	3本		4,020円
小計			6,700円
消費税			670円
合計			7,370円
総合計			489,170円
令和5年度事業の内容			
看護職員用教育機材を購入			
・摘便・浣腸モデル用 模擬便(硬便付)	1個		6,600円
・点滴採血用皮膚・静脈セット	2個		115,600円
・点滴・採血セット	1個		144,500円
・注射パッド半透明 Rタイプ	5個		119,000円
・針捨ボックスハリクイ	10個		4,400円
・スタンディングデスク	2個		61,800円
小計			451,900円
消費税			45,190円
合計			497,090円
令和6年度事業の内容			
看護職員用教育機材を購入			
○研修用シミュレータの整備・消耗品の整備			500,000円

事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
看護師の確保が困難な状況である圏域において、採用時の手厚いフォローを充実させることができている。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
(千円)	500	500	500	500	500	2,500
重要事業評価 指数（KPI）	潜在看護師セミナー及び潜在看護師研修への参加者			現状値 R5	目標値 R11	備考
				1 人	5 人	

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	備前市民及び上郡町民が圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する額と同額とする。					
効果	備前市及び上郡町では出産できる施設がないため、赤穂市民病院を含め市町外の施設での出産をせざるを得ない状況となっている。さらに、赤穂市民病院において、赤穂市民と市外の人々の助産料に格差があるため、圏域外の施設での出産を望む人が多い。このため、圏域内住民の助産料を同一とし、妊婦の負担を軽減することにより、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	—	—	—	—	—
令和 2 年度 事業の内容						
○ 4 月～3 月の実施状況 ・ 備前市 0 件 0 円 ・ 上郡町 0 件 0 円 計 0 件 0 円 (H 2 9 年 9 月～赤穂市民病院産婦人科医師退職により分娩休止)						
令和 3 年度 事業の内容						
○ 4 月～3 月の実施状況 ・ 備前市 0 件 0 円 ・ 上郡町 0 件 0 円 計 0 件 0 円 (H 2 9 年 9 月～赤穂市民病院産婦人科医師退職により分娩休止)						
令和 4 年度 事業の内容						
○ 4 月～3 月の実施状況 ・ 備前市 0 件 円 ・ 上郡町 0 件 円						

(H 2 9 年 9 月～赤穂市民病院産婦人科医師退職により分娩休止)						
令 和 5 年 度 事 業 の 内 容						
○ 4 月～3 月の実施状況						
・ 備前市 0 件 円 ・ 上郡町 0 件 円						
(H 2 9 年 9 月～赤穂市民病院産婦人科医師退職により分娩休止)						
令 和 6 年 度 事 業 の 内 容						
○ 4 月～3 月の実施状況 (見込み)						
・ 備前市 0 件 0 円 ・ 上郡町 0 件 0 円						
(H 2 9 年 9 月～赤穂市民病院産婦人科医師退職により分娩休止)						
事 業 の 評 価 ・ 検 証 及 び 次 期 ビ ジ ョ ン へ の 課 題 ・ 対 応						
赤穂市民病院において分娩休止中の間は事業実施不可能である。						
達 成 状 況						
☐ 達成 ☐ 一部達成 ☒ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続 (拡充) ☐ 継続 (現状維持) ☐ 継続 (改善) ☐ 継続 (縮小) ☐ 継続 (統合) ☒ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
(千円)	—	—	—	—	—	—
重要事業評価 指数 (KPI)	備前市民、上郡町民の赤穂市民病 院での出産件数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				0 人	0 人	

【イ. 教育】

（ア）生涯学習の推進

○取組の内容

圏域における生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興、健康増進等を図るため、教育施設等の相互利用、文化・スポーツ等に関する情報の交換及び人材の交流等、文化・スポーツの交流等を推進する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、忠臣蔵、塩等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、古代山陽道や赤松氏等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	備前市及び赤穂市の5つの日本遺産を活かし、圏域の歴史特性の再発見を通じて圏域住民の相互理解と、圏域の歴史文化の魅力を発信することによって、交流人口の拡大・観光振興を図る。 備前市と赤穂市の日本遺産に関する講演会やシンポジウム等を2市1町で開催する。					
効果	圏域内にある5つの日本遺産を活かした事業を展開することによって、圏域の歴史文化の理解を深め、圏域全体の魅力の磨き上げを推進し、交流人口の拡大と連携を図る。					
事業費 (円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計
	113,850	204,255	233,423	139,075	300,000	990,603
令和2年度事業の内容						
令和2年度の事業内容として2市1町の住民を対象とした講演会等の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、不特定多数が参加する講演会等の事業実施を見送った。 圏域の歴史文化の魅力を発信するため、東備西播の4件の日本遺産を広く紹介するパンフレットを作成した。						
令和3年度事業の内容						
備前市及び赤穂市で認定を受けている4つの日本遺産を活かし、圏域の歴史的特性を広く発信することにより、圏域住民の相互理解と交流人口の拡大・観光振興に資することを目的とする。 令和3年度の日本遺産を活かした地域の魅力向上事業として、圏域の日本遺産に関する講演会の開催 1. 名称 東備西播の日本遺産講演会 2. 日時 令和4年1月29日（土）午後1時から4時						

3. 場 所	赤穂市文化会館ハーモニーホール 2階 学習室
4. 内 容	講演内容 赤穂の塩づくりの歴史について 講演1 演題 塩の産地と赤穂の塩（仮題） 講師 落合 功（青山学院大学経済学部教授） 講演2 演題 近世期赤穂東浜の塩業（仮題） 講師 千原義春（青山学院大学大学院）
5. 対象者	一般市民（備前市・赤穂市・上郡町に在住・通勤・通学等の方）48人（事前申込み）
6. スケジュール	11月 ポスター・チラシ等による周知・広報 12月 参加者募集 1月 講演会開催 3月 テープ起こしによる講演記録作成
令和4年度事業の内容	
備前市及び赤穂市で認定を受けている4つの日本遺産を活かし、圏域の歴史的特性を広く発信することにより、圏域住民の相互理解と交流人口の拡大・観光振興に資することを目的とする。 令和4年度の日本遺産を活かした地域の魅力向上事業として、圏域の日本遺産に関する講演会を下記のとおり開催した。	
1 名 称	東備西播の日本遺産講演会
2 日 時	令和5年1月28日（土）午前10時～12時
3 場 所	備前市市民センター 2階 講座室
4 内 容	講演内容 備前市北前船寄港地日本遺産追加認定記念 北前船について 演題 北前船入門 ～西回り航路の商いと文化～ 講師 中野 秀治（一般社団法人北前船交流拡大機構 上席研究員）
5 参加者	一般市民（備前市・赤穂市・上郡町に在住・通勤・通学等の方）72人
令和5年度事業の内容	
備前市及び赤穂市で認定を受けている5つの日本遺産を活かし、圏域の歴史的特性を広く発信することにより、圏域住民の相互理解と交流人口の拡大・観光振興に資することを目的とする。 令和5年度の日本遺産を活かした地域の魅力向上事業として、圏域の日本遺産に関する講演会を下記のとおり開催した。	
1 名 称	東備西播の日本遺産講演会
2 日 時	令和6年1月27日（土）午前10時～午前11時50分
3 場 所	赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール 2階 学習室
4 内 容	講演内容 東備西播の日本遺産講演会 ー北前船の日本遺産編ー 演題 北前船による瀬戸内海と各地のつながり ～北前船の歴史的意義と日本遺産活用の可能性～ 講師 高野 宏康（小樽商科大学客員教授・北前船研究活用ネットワーク代表）
5 参加者	一般市民（備前市・赤穂市・上郡町に在住・通勤・通学等の方）68人
令和6年度事業の内容	
備前市及び赤穂市で認定を受けている5つの日本遺産を活かし、圏域の歴史的特性を広く発信する	

ことにより、圏域住民の相互理解と交流人口の拡大・観光振興に資することを目的とする。 令和6年度の日本遺産を活かした地域の魅力向上事業として、圏域の日本遺産に関する講演会を下記の通り開催する予定。 1 名称 東備西播の日本遺産講演会 2 日時 令和7年1月（予定） 3 場所 備前市市民センター 2階 講座室（予定） 4 内容 講演内容 東備西播の日本遺産講演会 閑谷学校の歴史と赤穂・上郡（仮） 5 参加者 一般市民（備前市・赤穂市・上郡町に在住・通勤・通学等の方）予定						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加者の上限を押さえたこともあり、目標値150人を下回っている。						
達成状況						
☐ 達成 ☐ 一部達成 ☒ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小）						
☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計
（千円）	300	300	300	300	300	1,500
重要事業評価指数（KPI）	講演会等の参加者数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				68	150	

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の相互利用を促進するため、各図書館で借りた資料をどの関係図書館へでも返却できるようにするとともに、図書館相互間で返却資料の託送を行う。					
効果	公立図書館及び関西福祉大学附属図書館の利用にかかる利便性を向上し、住民サービスの向上を図る。					
事業費 （円）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計
	65,362	123,086	173,182	205,549	300,000	867,179
令和2年度事業の内容						
○平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互利用を開始。 圏域図書館（6図書館） （赤穂市立図書館、関西福祉大学、上郡町立図書館、備前市立図書館本館、備前市図書館日生分館、備前市立図書館吉永分館） ・令和元年7月より相互間利用を一層促進するため、返却資料の託送を開始する。 ・各図書館登録状況（令和3年3月末現在）						

赤穂市から	備前市	54人	上郡町	127人	関福大	398人
備前市から	赤穂市	697人	上郡町	13人	関福大	37人
上郡町から	赤穂市	613人	備前市	11人	関福大	34人
						計 1,984人
令和3年度事業の内容						
○平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互利用を開始 圏域図書館（6図書館）（赤穂市立図書館、関西福祉大学、上郡町立図書館、備前市立図書館本館、備前市図書館日生分館、備前市立図書館吉永分館）						
○令和元年7月より相互間利用を一層促進するため、返却資料の託送を開始						
○各図書館登録状況（令和4年3月末現在）						
赤穂市から	備前市	55人	上郡町	130人	関福大	398人
備前市から	赤穂市	720人	上郡町	13人	関福大	37人
上郡町から	赤穂市	639人	備前市	12人	関福大	34人
						計 2,038人
令和4年度事業の内容						
○平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互利用を開始 圏域図書館（6図書館）（赤穂市立図書館、関西福祉大学、上郡町立図書館、備前市立図書館本館、備前市図書館日生分館、備前市立図書館吉永分館）						
○令和元年7月より相互間利用を一層促進するため、返却資料の託送を開始						
○各図書館登録状況（令和5年3月末現在）						
赤穂市から	備前市	60人	上郡町	142人	関福大	398人
備前市から	赤穂市	756人	上郡町	12人	関福大	37人
上郡町から	赤穂市	710人	備前市	16人	関福大	34人
						計 2,165人
令和5年度事業の内容						
○平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互貸借を開始 圏域図書館は6図書館（赤穂市立図書館、関西福祉大学付属図書館、上郡町立図書館、備前市立図書館本館・日生分館・吉永分館）						
○令和元年7月より相互間利用を一層促進するため、返却資料の託送を開始、令和3年7月から貸出資料の託送を開始						
○各図書館登録状況（令和6年3月末現在）						
赤穂市から	備前市	63人	上郡町	148人	関福大	410人
備前市から	赤穂市	789人	上郡町	12人	関福大	37人
上郡町から	赤穂市	761人	備前市	16人	関福大	34人
						計 2,270人
令和6年度事業の内容						
○平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互貸借を開始 圏域図書館は6図書館（赤穂市立図書館、関西福祉大学付属図書館、上郡町立図書館、備前市立図						

書館本館・日生分館・吉永分館)						
○令和元年7月より相互間利用を一層促進するため、返却資料の託送を開始、令和3年7月から貸出資料の託送を開始						
○各図書館登録状況（令和6年6月末現在）						
赤穂市から	備前市	63人	上郡町	152人	関福大	417人
備前市から	赤穂市	797人	上郡町	12人	関福大	37人
上郡町から	赤穂市	775人	備前市	16人	関福大	34人
						計 2,303人
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
託送を実施したことにより、託送利用登録者が年々増加している。 登録者数の増加していない施設の利用者をどう増やしていくかが課題。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計
（千円）	300	300	300	300	300	1,500
重要事業評価 指数（KPI）	図書館登録者数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				2,270人	2,800人	

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の読書活動を推進するため、読書講演会を実施する。実施にあたっては、著名講師による講演会の開催を行う。上郡町は従前からの毎年実施を踏襲し、備前市及び赤穂市は隔年ごとの持ち回りにより実施する。					
効果	圏域市町の公立図書館及び関西福祉大学附属図書館における相互の連携により図書館サービスの向上と図書館利用の拡大促進を図る。 読書講演会の実施により圏域利用者の図書館利用サービスの推進を図る。					
事業費 （円）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計
	—	—	—	—	—	—
令和2年度事業の内容						
○赤穂市立図書館・関西福祉大学図書館共同企画展示 目的：赤穂市立図書館と関西福祉大学図書館の相互の連携により、双方の読書活動推進と図書館利用の拡大促進を図る。 共同企画展示【おすすめえほん】 ・期間：令和2年5月21日（火）～8月31日（日） 86日間 ※令和2年4月14日（火）～6月14日（日）実施予定であったが、新型コロナウイルス						

感染症拡大のため変更 ・場 所：赤穂市立図書館・関西福祉大学図書館 ・対象者：一般市民 ・内 容：「おすすめえほん」の共同企画展示 ・参加者：約1,300人 ・対象者：一般市民 ・内 容：赤穂市関係の書籍の企画展示
令和3年度事業の内容
○赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館共同企画展示 目 的：赤穂市・備前市・上郡町立図書館と関西福祉大学図書館の相互の連携により、双方の読書活動推進と図書館利用の拡大促進を図る。 共同企画展示【おすすめえほん】 ・期 間：令和3年4月13日（火）～6月13日（日） ※令和3年4月13日（火）～6月13日（日）実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、臨時休館等により期間短縮。 ・場 所：赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館 ・対象者：一般市民 ・内 容：「おすすめえほん」の共同企画展示
令和4年度事業の内容
○赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館共同企画展示 目 的：赤穂市・備前市・上郡町立図書館と関西福祉大学図書館の相互の連携により、双方の読書活動推進と図書館利用の拡大促進を図る。 共同企画展示【おすすめえほん展】 ・期 間：令和4年4月15日（金）～6月12日（日） ・場 所：赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館 ・参加者数：800人 ・対 象 者：一般市民 ・内 容：「おすすめえほん展」の共同企画展示 ※各図書館で“おすすめえほん”を選定し、関西福祉大学の学生による“おすすめえほん POP 作品”と合わせて館内スペースを利用して展示を行う。
令和5年度事業の内容
○赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館共同企画展示 目 的：赤穂市・備前市・上郡町立図書館と関西福祉大学図書館の相互の連携による読書活動推進と図書館利用の拡大促進を図る。 共同企画展示【おすすめえほん展】 ・期 間：令和5年4月14日（金）～6月11日（日） ・場 所：赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館 ・参加者数：800人 ・対 象 者：一般市民 ・内 容：「おすすめえほん展」の共同企画展示 ※各図書館で“おすすめえほん”を選定し、関西福祉大学の学生による“おすすめえほん POP 作品”と合わせて館内スペースを利用して展示を行う。
令和6年度事業の内容
○赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館共同企画展示 目 的：赤穂市・備前市・上郡町立図書館と関西福祉大学図書館の相互の連携による読書活動推進

と図書館利用の拡大促進を図る。 共同企画展示【おすすめえほん展】 ・期 間：令和6年4月12日（金）～6月9日（日） ・場 所：赤穂市立図書館・備前市立図書館・上郡町立図書館・関西福祉大学図書館 ・参加者数：800人 ・対 象 者：一般市民 ・内 容：「おすすめえほん展」の共同企画展示 ※各図書館で“おすすめえほん”を選定し、関西福祉大学の学生による“おすすめえほん POP 作品”と合わせて館内スペースを利用して展示を行う。						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加者数が減少しており、参加者数をコロナ前の水準まで回復させることが課題						
達成状況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度 —	R8 年度 —	R9 年度 —	R10 年度 —	R11 年度 —	計 —
重要事業評価 指数（KPI）	共同企画展示への参加者数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				800 人	1,000 人	

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	文化事業やスポーツ大会等の開催情報を圏域全体に発信し、関係市町で実施する大会等に圏域住民のオープン参加を追加するなど、関係市町で実施する既存事業において圏域住民の参加を図る。また、スポーツ推進委員の連携による合同研修会や青少年のスポーツ交流のほか、関係市町で発行した文化関係図書等の交換を行う。					
効果	文化事業やスポーツ大会等に圏域住民の参加を促進して相互交流を深めるとともに、施設の利用促進を図る。他市町の住民やチームが参加することによるレベルアップも期待できる。また、行政間でも人的・物的交流による相互理解を深める。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	—	—	—	—	—
令和2年度事業の内容						
○2市1町スポーツ推進委員情報交換会 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会議は行わず資料のみ配付。 ○第10回赤穂シティマラソン 令和2年11月8日（日）開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。代替えとして、赤穂シティマラソンオンライン大会を令和3年2月20日（土）～3月7日（日）の						

期間に実施。申込者数 432 名（赤穂市 245 名、上郡町 9 名、備前市 8 名、その他 170 名） ○2 市 1 町スポーツ推進委員合同実技研修会（スポーツ指導者オンライン研修会への参加） 日時：令和 3 年 2 月 13 日（土） 15 時 00 分～16 時 30 分 参加者数 赤穂市： 4 名 備前市： 6 名 上郡町： 10 名 ○備前♡日生大橋マラソン 2021 令和 3 年 3 月中旬に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。
令和 3 年 度 事 業 の 内 容
○2 市 1 町スポーツ推進委員情報交換会 会場：備前市 三石ふれあいセンター 参加 赤穂市 3 人 備前市 6 人 上郡町 5 人 計 14 人 日時：令和 3 年 7 月 29 日（木） 2 市 1 町のスポーツ推進委員と担当課で情報交換を実施 ○第 11 回赤穂シティマラソンオンライン大会 会場：赤穂市 日時：令和 3 年 11 月 13 日（土）～11 月 28 日（日）開催 ○2 市 1 町スポーツ推進委員合同実技研修会 会場：上郡町 日時：令和 4 年 1 月 16 日 E スポーツ研修、新型コロナ感染防止により中止 ○備前♡日生大橋全国オンラインマラソン大会 会場：備前市 日時：令和 4 年 3 月 12 日～21 日 リアルマラソンは中止、岡山県初のオンラインマラソンを 全国募集し、800 人参加（定員増）
令和 4 年 度 事 業 の 内 容
○2 市 1 町スポーツ推進委員情報交換会 会場 備前市 三石ふれあいセンター 参加者 備前市 8 人 赤穂市 4 人 上郡町 4 人 計 16 人 日時 令和 4 年 8 月 1 日（月） 内容 各市町のスポーツ推進委員と担当職員による情報交換を実施 ○第 12 回赤穂シティマラソン大会の運営補助 会場 赤穂市（城南緑地陸上競技場スタートゴール） 日時 令和 4 年 11 月 13 日（日） 10 時スタート 参加者 備前市 8 人 赤穂市 13 人 上郡町 9 人 計 30 人 ○2 市 1 町スポーツ推進委員合同実技研修会 会場 上郡町 日時 令和 5 年 2 月 5 日（日） 内容 e-スポーツで地域交流・健康増進について 参加者 備前市 6 人 赤穂市 9 人 上郡町 6 人 計 21 人
令和 5 年 度 事 業 の 内 容
○2 市 1 町スポーツ担当及びスポーツ推進委員情報交換会 期日 令和 5 年 7 月 6 日（木） 会場 備前市ふれあいセンター 参加者 備前市 4 名 赤穂市 5 名 上郡町 5 名 内容 各市町のスポーツ推進委員とスポーツ担当職員による情報交換を実施

○2市1町スポーツ推進委員合同実技研修会 期日 令和6年2月17日(土) 会場 品川リフラ赤穂市民総合体育館 参加者 宍粟市 2名 上郡町 6名 相生市 5名 太子町 4名 佐用町 7名 備前市 10名 たつの市 9名 <u>計 43名</u> 内容 モルック体験教室						
令和6年度事業の内容						
○2市1町スポーツ担当及びスポーツ推進委員情報交換会 期日 令和6年8月2日(金) 会場 備前市ふれあいセンター 参加者 備前市6名 赤穂市5名 上郡町7名 内容 各市町のスポーツ推進委員とスポーツ担当職員による情報交換を実施 ○第3回赤穂市卓球オープン大会 定住圏域内市町から参加の広域大会を実施 期日 令和6年9月8日(日) 会場 品川リフラ赤穂市民総合体育館 ○2市1町スポーツ推進委員合同実技研修会 スポーツ推進委員の活動向上と相互の交流を図るため合同実技研修会を持ち回りで実施 期日 未定 会場 上郡町 内容 未定 ○備前♡日生大橋マラソン大会 期日 令和7年3月9日(日) 会場 備前市 内容 10kmを中心としたマラソン大会。先着先着1500人。定住圏域内市町での相互PRやスポーツ推進委員を中心とした大会運営協力						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
スポーツ推進委員は、スポーツ基本法第32条に基づき、地域スポーツの中核的役割を担うことが期待されている。この各市町で活動するスポーツ推進委員が相互に情報共有等連携することにより、東備西播圏域における地域スポーツ推進をより一層図るため、情報交換会の実施及び合同実技研修会を実施しているところであり、その意義は大きい。 引き続き時期ビジョンにおいても、連携した活動を行い、圏域におけるスポーツ推進の振興を図る必要があると考える。 また、人口減少により単独市町での各種スポーツイベントも参加者数が縮小傾向にある中、広域大会について定住圏域内での相互PRや参加の機会を設けることで、スポーツ活動のさらなる推進を図ることは重要であると考えます。						
達成状況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続(拡充) ☒ 継続(現状維持) ☐ 継続(改善) ☐ 継続(縮小)						
☐ 継続(統合) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計
(千円)	—	—	—	—	—	—

重要事業評価 指数（KPI）	1 情報交換 17 人 2 卓球大会 230 人 3 合同研修 30 人 4 備前日生大橋マラソン 協力人員 20 人 ※赤穂マラソンへの協力は R5 以降実績なし	現状値 R5	目標値 R11	備考
		297 人	330 人	1 情報交換 20 人 2 卓球大会 250 人 3 合同研修 40 人 4 備前♡日生大橋マラ ソン大会 協力人員 20 人

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域住民が関係市町の文化・スポーツ施設を同等の条件で利用することにより、圏域内における文化・スポーツ施設の相互利用促進を図る。					
効果	圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	—	—	—	—	—
令和 2 年度 事業 の 内 容						
東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等を一部改正している。 <広域利用対象施設> [赤穂市]（12施設） 1）文化関連施設（7施設） 文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館 2）スポーツ関連施設（5施設） 城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター・海浜スポーツセンター・元禄スポーツセンター [備前市]（21施設） 1）文化関連施設（11施設） 市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化館・八塔寺ふるさと村民俗資料館・図書館（本館・日生分館・吉永分館）・吉永美術館・歴史民俗資料館・備前焼ミュージアム・日生市民会館 2）スポーツ関連施設（10施設） 総合運動公園・三石運動公園・日生運動公園・吉永B&G海洋センター・頭島グラウンド・ゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・日生温水プール・吉永テニスコート [上郡町]（5施設）						

1) 文化関連施設（4施設） 生涯学習支援センター・図書館・郷土資料館・生きがい創造センター 2) スポーツ関連施設（1施設） スポーツセンター ＜広域利用開始時期＞ 平成23年4月1日
令和3年度事業の内容
東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等の一部改正を検討。 ＜広域利用対象施設＞ 〔赤穂市〕（12施設） 1) 文化関連施設（7施設） 文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館 2) スポーツ関連施設（5施設） 城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター・海浜スポーツセンター・元禄スポーツセンター 〔備前市〕（21施設） 1) 文化関連施設（11施設） 市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化館・八塔寺ふるさと村民俗資料館・図書館（本館・日生分館・吉永分館）・吉永美術館・歴史民俗資料館・備前焼ミュージアム・日生市民会館 2) スポーツ関連施設（10施設） 総合運動公園・三石運動公園・日生運動公園・吉永B&G海洋センター・頭島グラウンド・ゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・日生温水プール・吉永テニスコート 〔上郡町〕（5施設） 1) 文化関連施設（4施設） 生涯学習支援センター・図書館・郷土資料館・生きがい創造センター 2) スポーツ関連施設（1施設） スポーツセンター ＜広域利用開始時期＞ 平成23年4月1日
令和4年度事業の内容
東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等の一部改正を検討。

<広域利用対象施設>

[赤穂市] (12施設)

1) 文化関連施設 (7施設)

文化会館 (赤穂化成ハーモニーホール)・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館

2) スポーツ関連施設 (5施設)

城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター・海浜スポーツセンター・元禄スポーツセンター

[備前市] (21施設)

1) 文化関連施設 (11施設)

市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化館・八塔寺ふるさと村民俗資料館・図書館 (本館・日生分館・吉永分館)・吉永美術館・歴史民俗資料館・備前焼ミュージアム・日生市民会館

2) スポーツ関連施設 (10施設)

総合運動公園・三石運動公園・日生運動公園・吉永B&G海洋センター・頭島グラウンド・ゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・日生温水プール・吉永テニスコート

[上郡町] (5施設)

1) 文化関連施設 (4施設)

生涯学習支援センター・図書館・郷土資料館・生きがい創造センター

2) スポーツ関連施設 (1施設)

スポーツセンター

<広域利用開始時期> 平成23年4月1日

令和5年度事業の内容

東備西播定住自立圏域内 (赤穂市、備前市、上郡町) の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等 の一部改正を検討。

<広域利用対象施設>

[赤穂市] (12施設)

1) 文化関連施設 (7施設)

文化会館 (赤穂化成ハーモニーホール)・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館

2) スポーツ関連施設 (5施設)

城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター・海浜スポーツセンター・元禄スポーツセンター

[備前市] (21施設)

1) 文化関連施設 (11 施設)

市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化館・八塔寺ふるさと村民俗資料館・
図書館 (本館・日生分館・吉永分館)・吉永美術館・歴史民俗資料館・備前焼ミュージアム・
日生市民会館

2) スポーツ関連施設 (10 施設)

総合運動公園・三石運動公園・日生運動公園・吉永B&G海洋センター・頭島グラウンド
ゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・日生温水プール・吉永テニスコート

[上郡町] (5 施設)

1) 文化関連施設 (4 施設)

生涯学習支援センター・図書館・郷土資料館・生きがい創造センター

2) スポーツ関連施設 (1 施設)

スポーツセンター

<広域利用開始時期> 平成23年4月1日

令和6年度事業の内容

<広域利用対象施設>

[赤穂市]

1) 文化関連施設

文化会館 (文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館

2) スポーツ関連施設

城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター・海浜スポーツセンター・
元禄スポーツセンター

[備前市]

1) 文化関連施設

市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化館・八塔寺ふるさと村民俗資料館・
図書館 (本館・日生分館・吉永分館)・吉永美術館・歴史民俗資料館・備前市美術館・
日生市民会館

2) スポーツ関連施設

チオビタ総合運動公園・三石運動公園・日生運動公園・吉永B&G海洋センター・頭島グラウン
ドゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・日生温水プール・吉永テニスコート・
スケートボード場

[上郡町]

1) 文化関連施設

生涯学習支援センター・図書館・郷土資料館・生きがい創造センター

2) スポーツ関連施設

スポーツセンター

<広域利用開始時期> 平成23年4月1日

事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
定住圏域内の住民に、多様な施設サービスを在住市町と同一条件で提供することは、圏域内住民にとって利便性の向上に繋がるものであり、引き続き時期ビジョンにおいても、継続すべきものと考え						
達 成 状 況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小）						
☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度 —	R8 年度 —	R9 年度 —	R10 年度 —	R11 年度 —	計 —
重要事業評価 指数（KPI）	広域利用対象施設の数			現状値 R6 38	目標値 R11 38	備考 現在のところ相互利用できる施設については、全て対応済であるが、今後新規に整備等される施設があれば随時検討する。

事業名	トップアスリート等招聘事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなど魅力あるスポーツイベントを3市町の体育施設で開催する。					
効果	高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの裾野を広げ、競技レベルの向上に繋げる。 また、事業実施にあたっては、関連する競技団体やスポーツ団体と連携し、住民相互の交流を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	467,533	876,925	804,350	811,292	900,000	3,860,100
令和2年度事業の内容						
○2市1町事業担当者会議 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は行わず資料のみ配付。 ○2市1町スポーツ推進委員情報交換会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は行わず資料のみ配付。 ○スポーツ指導者オンライン研修会 バドミントン教室の代替え事業として実施 ・内容：元男子ラグビー日本代表メンタルコーチを講師に迎え、スポーツ指導者を対象にメンタルトレーニングの理論と技術を習得する						

・日時：令和3年2月13日（土） 15時00分～16時30分 ・会場：赤穂市（市民会館1階 大会議室） 備前市（市役所本庁舎5階 5-1・2会議室） 上郡町（役場第2庁舎 大会議室） ・参加者数 赤穂市：31名 備前市：13名 上郡町：18名 <u>計62名</u>
令和3年度事業の内容
○トップアスリート招聘事業 陸上競技教室を開催 ・内容：アトランタ・シドニー・アテネ・北京オリンピック日本代表 4×100mリレー銀メダリスト 朝原宣治氏、リオデジャネイロオリンピック日本代表 荻田大樹氏による陸上競技教室及び写真判定装置を使用した100m記録会 (特別スターター 朝原さん、補助スターター 荻田さん) ・日時：令和3年11月6日（土） 9時00分～12時00分 ・会場：備前市総合運動公園 多目的競技場（第3種公認陸上競技場） ・参加者 赤穂市：41人 備前市：89人 上郡町：22人 <u>計152人</u>
令和4年度事業の内容
○トップアスリート招聘事業 小学生を対象にサッカークリニックを開催（担当 赤穂市） 日 時 令和5年1月29日(日) 会 場 赤穂市民総合体育館 講 師 サッカー元日本代表 福西崇史 氏 外 参加者 備前市16人 赤穂市57人 上郡町0人 <u>計73人</u>
令和5年度事業の内容
○トップアスリート招聘事業 柔道教室 開催日時 令和5年12月17日（日） 10時～12時 会 場 上郡町スポーツセンター 総合体育館 講 師 穴井 隆将（天理大学柔道部監督）、丸山 城志郎（ミキハウス所属） 参加人数 122名（小学生73名、中学生49名）
令和6年度事業の内容
○トップアスリート招聘事業 内 容 未定（担当 備前市） 開催日時 未定 会 場 備前市にて開催
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応
単独市町では、予算的にも実施が難しい同事業であるが、子どもたちに一流選手からの指導を受ける機会を設けることは、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの裾野を広げ、競技レベルの向上に繋げるといふ本来の目的を達成できていると評価できる。 今後は人口減少に伴い、赤穂市でも中学生徒数が令和19年度には約半減（R6：1,100人⇒R19：600人）すると予測されており、部活動の地域移行による影響もあり、競技人口の減少は今後も厳しい状況が続くものと考えられる。

このため、次期ビジョンにおいても定住圏域の市町の連携を強化し、関連する競技団体やスポーツ団体とも協力して、一層魅力あるスポーツ教室の実施により、競技力向上やスポーツ推進を図る必要がある。						
達 成 状 況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小）						
☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
(千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
重要事業評価 指数（KPI）	各イベントにおける参加人数			現状値 R5	目標値 R11	備考
	R 1 1 0 1（前ビジョン現状値） R 2 6 2 R 3 1 5 2 R 4 7 3 R 5 1 2 2 R 6 未実施（目標値 1 7 0） （現状値 R 6 は未実施のため、過去 5 年平均は、種目による変動もあるが単純平均 1 0 2 人である。）			122	120	人口減少や部活動地域移行等減少要因も懸念されるが、目標値は 120 人で設定（20%増。過去 2 回はこの数字（120 人）を超えている年もある） <算定> 45 人×2 市（備前・赤穂） 30 人×1 町（上郡）

事業名	中学校吹奏楽部交流助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	3 市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体と連携して実施する 3 市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して、助成を行う。					
効果	圏域の中学校吹奏楽部の交流の場を確保し、住民交流を促進するとともに、音楽技術の向上を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	—	679,938	698,543	700,000	2,078,481
令和 2 年度事業の内容						
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止を決定した。						
令和 3 年度事業の内容						
○中学校吹奏楽部交流演奏会について検討 ・場所：赤穂市文化会館 ・内容：2 市 1 町の中学校吹奏楽部交流演奏会 ○新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止						
令和 4 年度事業の内容						

○ 2市1町の担当会議を実施 日時 令和4年8月23日（火）・11月29日（月）・令和5年1月30日（月） 場所 赤穂市 ○中学校吹奏楽部交流事業 実施日 令和5年2月11日（土・祝） 会場 赤穂市文化会館（赤穂化成ハーモニーホール） 内容 2市1町の中学校吹奏楽部及び関西福祉大学吹奏楽団による交流演奏会 参加校 6中学校 75人 （赤穂中学校・赤穂西中学校・上郡中学校・伊里中学校・日生中学校・吉永中学校） 関西福祉大学吹奏楽団： 7人 観客数 190人		
令和5年度事業の内容		
○ 2市1町の担当会議を実施 令和5年8月24日（木）・令和5年11月28日（火）・令和6年1月25日（木） ○中学校吹奏楽部交流事業 実施日 令和6年2月10日（土） 会場 赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホール大ホール 内容 2市1町の中学校吹奏楽部による交流演奏会 参加校 7中学校（赤穂中学校・赤穂西中学校・上郡中学校・伊里中学校・日生中学校・ 備前中学校・吉永中学校）99人 赤穂市吹奏楽団 16人 観客数 360人		
令和6年度事業の内容		
○ 2市1町の担当会議を実施 3回程度 ○中学校吹奏楽部交流事業 実施日 令和7年2月8日（土） 会場 赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホール大ホール 内容 2市1町の中学校吹奏楽部による交流演奏会 参加校 7中学校（赤穂中学校・赤穂西中学校・上郡中学校・伊里中学校・日生中学校・ 備前中学校・吉永中学校） 赤穂市吹奏楽団		
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応		
新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされた年もあったが、毎年、2市1町の中学校吹奏楽部による交流演奏会を開催し、住民交流を促進するとともに、音楽技術の向上を図ることができた。 今後、中学校の部活動地域移行が実施されることに伴い、参加団体の見直し等を検討していく必要がある。		
達成状況		
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中		

今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度 700	R8 年度 700	R9 年度 700	R10 年度 700	R11 年度 700	計 3,500
重要事業評価 指数 (KPI)	参加中学校数			現状値 R6 7	目標値 R11 7	備考

事業名	圏域中学生体験（社会福祉・看護・教育） プログラム事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	圏域内の中学生が、関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施する。					
効果	圏域内の高等教育機関である関西福祉大学において、中学生が将来に向けて学ぶ意欲や興味を持つ分野を発見し、社会福祉、看護、教育に関する体験プログラムを通じた職業意識の向上を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	1, 149, 420	756, 876	886, 242	849, 893	1, 150, 000	4, 792, 431
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
1 内容						
東備西播定住自立圏形成推進事業の一環として、圏域内の中学生が、関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施。						
2 対象中学校等及び参加者数						
	市町	学校名	実施日	参加生徒数		
	赤穂市	赤穂中学校	11 月 6 日（金）	114 名		
		赤穂西中学校	12 月 4 日（金）	71 名		
		赤穂東中学校	10 月 30 日（金）	116 名		
		坂越中学校	11 月 20 日（金）	40 名		
		有年中学校	12 月 11 日（金）	27 名		
上郡町立上郡中学校、備前市立 5 中学校（備前・日生・吉永・伊里・三石）は本年度新型コロナウイルス感染症予防等を理由として、令和 2 年度は実施せず。						
令和 3 年 度 事 業 の 内 容						
○東備西播定住自立圏形成推進事業の一環として、圏域内の中学生が、関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施						
令和 4 年 度 事 業 の 内 容						
1 内容						
東備西播定住自立圏形成推進事業の一環として、圏域内の中学生が、関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施。						
2 対象中学校等及び参加者数						

市町	学校名	実施日	参加生徒数
赤穂市	赤穂中学校	11月4日（金）	123人
	赤穂西中学校	11月18日（金）	99人
	赤穂東中学校	12月2日（金）	99人
	坂越中学校	12月9日（金）	45人
	有年中学校	10月28日（金）	17人
備前市	備前中学校	11月11日（金）	84人
	日生中学校	11月25日（金）	38人

令和5年度事業の内容

1 内容

圏域内の中学生が関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施。

2 対象中学校等及び参加人数

市町	学校名	実施日	参加生徒数
赤穂市	赤穂中学校	5月26日（金）	105人
	赤穂西中学校	5月24日（水）	86人
	赤穂東中学校	7月5日（水）	122人
	坂越中学校	12月8日（金）	34人
	有年中学校	10月25日（水）	12人
備前市	備前中学校	11月10日（金）	112人
	日生中学校	10月13日（金）	33人
	三石中学校	11月17日（金）	7人
上郡町	上郡中学校	不参加	0人

令和6年度事業の内容

1 内容

圏域内の中学生が関西福祉大学において社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラムを体験する事業を、学校教育における授業として実施。

2 対象中学校等及び参加人数

市町	中学校名	実施状況	参加生徒数(予定)
赤穂市	赤穂中学校	11月22日（金）	118人
	赤穂西中学校	5月29日（水）	75人
	赤穂東中学校	調整中	109人
	坂越中学校	調整中	56人
	有年中学校	10月25日（金）	12人
備前市	三石中学校	7月5日（金）	15人
上郡町	上郡中学校	6月7日（金）	102人

事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加校が減少したが、現在は回復傾向にある。 ・目標値を達成するために、各市町において本事業の更なる啓発が必要。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
(千円)	1, 150	1, 150	1, 150	1, 150	1, 150	5, 750
重要事業評価 指数 (KPI)	事業参加中学校数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				8 校	11 校	

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	赤穂市文化会館は、「中学校吹奏楽部交流事業」をはじめ、圏域における文化の振興と交流の場を担う拠点施設であるが、開館から28年が経過し、施設の老朽化が見受けられるため、経年劣化により改修の必要性がある施設整備等の整備を行う。 赤穂市立図書館は、圏域における生涯学習の拠点施設として図書の貸出や各種講座等の図書館活動を行っているが、開館から20年が経過し、空調機設備の老朽化により空調効率が低下しているため更新整備を行う。					
効果	圏域住民の利用に必要な施設の整備を行い、中学校吹奏楽部交流事業の推進を図るとともに、圏域における文化振興及び住民交流の促進を図る。 圏域住民の利用に必要な施設設備の更新を行うことにより、快適な利用環境を整え、読書活動の一層の促進を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	46, 575, 100	46, 090, 000	4, 612, 726	7, 095, 000	110, 211, 000	214, 583, 826
令和2年度事業の内容						
1 赤穂市文化会館 1) 屋上防水改修工事 屋上防水シートの老朽化による防水改修工事 ① 契約日 令和2年11月10日 ② 工期 令和2年11月11日～令和3年3月24日 ③ 契約額 46, 575, 100円						
令和3年度事業の内容						
1. 赤穂市文化会館						

舞台照明負荷設備改修工事 小ホールの電気負荷設備の改修工事を実施 工期：令和3年11月～令和4年6月（4年度繰越） 予定価格超過等により業者決定に時間を要したため、部品調達にかかる時間及び文化会館興行等の関係で3月末までの工事完了が難しく、6月まで工期を延長。
令和4年度事業の内容
1 赤穂市文化会館（赤穂化成ハーモニーホール） 1) 市民ロビー吹抜照明LED化工事 予算額 2,500,000円 契約額 2,250,600円 工期 令和5年1月11日～令和5年3月24日 2) 電気設備改修工事実施設計 実施なし 3) グランドピアノオーバーホール 予算額 2,600,000円 契約額 2,362,126円 期間 令和4年9月1日～令和5年1月31日
令和5年度事業の内容
○赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール ③ 防火シャッター危害防止装置整備工事 予算額 4,200,000円 契約額 4,015,000円 工期 令和5年7月11日～令和5年9月29日 ④ 電気設備改修工事実施設計 予算額 7,100,000円 契約額 3,080,000円 工期 令和5年11月15日～令和6年3月29日
令和6年度事業の内容
1 赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール 1) 舞台照明設備改修工事 予算額 90,800,000円 契約額 86,900,000円 工期 令和6年6月4日～令和7年1月31日 2) 展示室等照明LED化改修工事 予算額 13,800,000円
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応
経年劣化により改修の必要性がある施設整備等の整備を進めることができたが、新型コロナウイルスの影響もあり、目標値は大きく下回る結果となった。 引き続き、圏域における文化の振興と交流の場を担う拠点施設としての役割を果たせるよう、必要な施設の整備を行う。

達 成 状 況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☒ 継続（拡充） ☐ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
（千円）	180,000	105,000	75,000	150,000	100,000	610,000
重要事業評価指数(KPI)	文化会館の利用者数			現状値 R6	目標値 R11	備考
				63,046	109,200	

事業名	備前市生涯学習施設及び文化・スポーツ施設整備事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	市民センター及び日生市民会館は、「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設であり、図書館相互利用をはじめ、圏域住民による文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たしている。また、備前市総合運動公園及び日生運動公園は、「文化・スポーツ施設相互利用促進事業」の拠点となる施設であり、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民相互の交流を図るなど、重要な役割を果たしているため、経年劣化により改修の必要性がある施設整備等の整備を行う。					
効果	圏域住民の利用に必要な整備を行い、図書館相互利用推進事業及び文化・スポーツ施設相互利用促進事業の推進を図るとともに、圏域内の生涯学習及び文化・スポーツの機会の充実、文化・スポーツ振興及び住民交流の促進を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	20,405,000	19,762,600	19,762,600	7,536,100	15,104,000	65,273,900
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
1. 市民センター						
1) 玄関ホール他タイル改修工事						
経年劣化したタイルの改修工事を実施。						
工 期 令和2年5月28日～10月31日						
予算額 14,080千円						
契約額 14,080千円						
2) 屋上防水改修工事						
経年劣化した屋上防水の改修工事を実施。						
工 期 令和2年12月1日～令和3年3月31日						
予算額 7,344千円						
契約額 6,325千円						
予算額合計 21,424千円（契約額20,405千円）						

令和３年度事業の内容	
１．市民センター南北面屋根防水改修工事 経年劣化した屋上防水の改修工事 予算額 2,453,000円 契約額 2,120,800円 工期 令和３年１２月７日から令和４年３月３１日（令和４年２月１日完成） ２．日生市民会館自動火災報知設備等取替工事 特殊建築物消防用設備等点検で不作動発覚の自動火災報知設備と非常警報器具及び設備の全取替工事 予算額 17,611,000円 契約額 16,134,800円 工期 令和３年１１月４日から令和４年３月３１日（令和４年３月３１日完成） ３．日生市民会館自動火災報知設備等取替工事設計委託 日生市民会館自動火災報知設備等取替工事の設計委託 予算額 1,762,000円 契約額 1,507,000円 期間 令和３年７月８日～８月３１日	
令和４年度事業の内容	
１．市民センター音響室ミキサー改修工事（未実施） ２．日生市民会館舞台吊物設備改修工事（ワイヤーロープ取替） 複数年で行う舞台吊物の改修工事 予算額 2,467,000円 事業費 2,466,200円 工期 令和４年６月１日～１０月２６日	
令和５年度事業の内容	
１．日生市民会館舞台吊物設備改修工事 （リミットスイッチ、制御部品、操作部品、マシン用減速機、マニラロープ、 Horizont幕 取替） 予算額 7,537,000円 契約額 7,536,100円 工期 令和５年５月１０日～１０月２６日 完成 令和５年１０月２６日 ２．日生市民会館舞台照明分電盤改修工事（令和６年度へ繰越） 予算額 17,593,000円 令和６年１０月指名委員会、令和６年１１月入札、契約予定	
令和６年度事業の内容	
日生運動公園体育館自家発電設備取替工事 日生温水プールろ過材入替修繕 備前市チオビタ運動公園体育館高圧コンデンサ取替修繕 備前市チオビタ運動公園（備前球場）消防用設備等修繕	13,096千円 716千円 658千円 634千円

事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
施設が老朽化しているため、今後も経年劣化による改修が必要となる。 当事業による施設改修は、住民交流施設の維持に大きく寄与しており、本事業の継続が必要である。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☒ 継続（拡充） ☐ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
（千円）	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	112,500
重要事業評価指数（KPI）	※検討中			現状値 R5	目標値 R11	備考

事業名	上郡町生涯学習施設整備事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	上郡町スポーツセンター及び上郡町生涯学習支援センターは、圏域市町間における「文化・スポーツ施設相互利用促進事業」「図書館相互利用推進事業」をはじめ、各種圏域事業による圏域住民のスポーツ振興、文化・芸術の振興による住民交流を促進する場として重要な役割を果たす拠点施設であるが、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の整備を行う。						
効果	圏域住民の交流・利用に必要な施設の整備を行い、文化・スポーツ施設相互利用促進事業をはじめとする圏域住民のスポーツの振興及び、文化・芸術の振興による住民交流の促進を図る。						
事業費（円）	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計	
	14,636,837	14,905,000	21,295,120	22,500,000	22,500,000	95,836,957	
令和2年度事業の内容							
1. 上郡町スポーツセンター 1) 施設整備 施設の老朽化に伴う修繕の実施。 工 期 令和2年4月1日～令和3年3月25日 執行額 14,636,837 円 主な修繕 ・トレーニングルーム空調機器新設工事 ・総合体育館LED化改築工事 他							
令和3年度事業の内容							
1. 上郡町スポーツセンター 1) 温水プール改修工事 施設の老朽化に伴う改修の実施。							

工 期	令和3年12月21日～令和4年2月28日	
執行額	14,905,000円	
主な修繕	・プール缶体補強塗装工事 ・プール棟施設照明LED化工事 ・コースロープボックス改修工事	
令和4年度事業の内容		
1 上郡町スポーツセンター		
1) 消防防火設備等施設修繕		
予算額	6,498,000円	
契約額	4,985,420円	
工 期	令和4年7月15日～令和5年3月31日	
2) 総合体育館（剣道場）・テニスコートLED化改修工事設計		
予算額	1,782,000円	
契約額	1,595,000円	
期 間	令和4年6月17日～令和4年8月31日	
3) 総合体育館（剣道場）・テニスコートLED化改修工事		
予算額	14,220,000円	
契約額	14,714,700円	
工 期	令和4年12月6日～令和5年3月24日	
令和5年度事業の内容		
1. 上郡町スポーツセンター		
1) 修繕費		
体育館関係修繕費（消防設備点検不良箇所等）	1,730,124円	
温水プール関係修繕（濾過装置修繕等）	5,890,957円	
2) 工事費		
温水プール関係工事（ユニットヒーター更新等）	6,875,000円	
体育館関係工事費（加圧ポンプユニット更新等）	4,249,000円	
3) 備品購入費		
大会用量	3,754,919円	
令和6年度事業の内容		
1・生涯学習支援センター等施設修繕		
消防設備点検不良箇所修繕		
大ホール吊り物不良箇所修繕		
生涯学習支援センター事務所等照明LED化修繕		
温水プール機器室備付ポンプ等		
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応		
上郡町スポーツセンター及び生涯学習支援センターは、圏域市町におけるスポーツ振興、文化振興、住民交流の重要拠点施設であるが、いずれも建築後40年以上が経過し、経年劣化による修繕が必要。当事業による施設改修は、住民交流施設の維持に大きく寄与しており、本事業の継続が必要である。		
達成状況		

☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小）						
☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度 22,500	R8 年度 22,500	R9 年度 22,500	R10 年度 22,500	R11 年度 22,500	計 112,500
重 要 事 業 評 価指数 (KPI)	※検討中			現状値 R5	目標値 R11	備考

(イ) 学校給食の広域連携

○取組の内容

圏域における学校給食の充実を図るため、学校給食施設の広域連携を図る。

備前市の役割	赤穂市の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	学校給食施設を建設するにあたり、備前市及び赤穂市と連携して、施設運営の技術的交流に取り組むことにより、圏域における学校給食の充実を図る。

事 業 名	学校給食連携事業				関 係 市 町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	圏域内の学校給食の運営において、市町間の食材に関する情報交換や相互の献立を活用するなど、地産地消の手法等の広域連携を行う。					
効 果	圏域内の食材を活用した学校給食の提供、食育を通じて、地域の食材について理解を深めるとともに、圏域内での地産地消の推進を図る。					
事 業 費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	—	—	—	—	—

令 和 2 年 度 事 業 の 内 容

○給食部会担当者会の実施

- (1) 日 時 令和2年8月18日(火) 14時30分～
- (2) 場 所 上郡町役場4階第1委員会室
- (3) 内 容 ・地元食材の相互活用等圏域市町間の連携について
・今後の取り組みについて 他
- (4) 献立活用状況 10回(赤穂市 3回、上郡町 4回、備前市 3回)

令和3年度事業の内容
○給食部会担当者会の実施 (1) 日 時 令和3年10月26日(火) 15:00～ (2) 場 所 上郡町学校給食センター (3) 内 容 ・地元食材の相互活用等圏域市町間の連携について ・今後の取組について 他 (4) 献立活用状況 14回(赤穂市 5回、備前市 5回、上郡町 4回)
令和4年度事業の内容
○給食部会担当者会の実施 (1) 日 時 令和4年8月9日(火) 14:30～ (2) 場 所 上郡町学校給食センター (3) 内 容 ・地元食材の相互活用等圏域市町間の連携について ・今後の取組について 他 (4) 献立活用状況 11回(赤穂市 3回、備前市 4回、上郡町 4回)
令和5年度事業の内容
○給食部会担当者会の実施 (1) 日 時 令和5年8月24日(木) 14:00～ (2) 場 所 上郡町学校給食センター (3) 内 容 ・地元食材の相互活用等圏域市町間の連携について ・今後の取組について 他 (4) 献立活用状況 11回(赤穂市 3回、備前市 4回、上郡町 4回)
令和6年度事業の内容
○給食部会担当者会の実施 (1) 日 時 令和6年8月19日(月) 14:00～ (2) 場 所 上郡町学校給食センター (3) 内 容 ・地元食材の相互活用等圏域市町間の連携について ・今後の取組について 他 (4) 献立活用状況(予定) 12回(赤穂市 4回、備前市 4回、上郡町 4回)
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応
1 事業の評価・検証 (1) 圏域内献立活用回数(KPI 12回) ・年1回、担当者会を開催し、情報交換や課題等の協議を行った。 ・献立表やレシピを交換し、相互の献立を活用した。 ・2市1町で延べ11回(令和5年度)実施した。 2 次期ビジョンへの課題・対応 献立表や各市町の地元食材を使ったレシピを交換することで、オリジナルの献立(AKB献立)を提供し合い、令和5年度には、AKB献立を延べ11回実施し広域連携を図っている。今後も引き続き、地域食材への理解等を深めるため、2市1町との情報交換や献立交換を継続していきたい。
達成状況
☒達成 ☐一部達成 ☐検討中

今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
(千円)	—	—	—	—	—	—
重要事業評価 指数（KPI）	圏域内献立活用回数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				11	12	

【ウ. 産業振興】

（ア）地産地消の推進及び地域ブランドの発掘

○取組の内容

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘を図るため、圏域内の事業体に対して既存商品の再発掘、改良及び新商品の開発等について必要な支援を行うとともに、各種イベントの実施や既存施設の空きスペース等の活用により情報を発信する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等について総合的な調整を行うとともに、必要な支援及び情報発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び赤穂市、並びに関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。

事業名	地域ブランド発掘事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	圏域の魅力を内外に発信するため、農商工業者等によるイベントの開催や出店支援、新製品開発の支援等、地域ブランド発掘のための事業を行う。					
効果	地域に埋もれた農林水産物やそれらを活用した商品の販路拡大、特産品開発を支援することで、圏域経済を活性化し、生産者等の意欲向上を図るとともに、圏域市町の名を全国に発信し、知名度の向上を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	200,000	400,000	394,150	300,000	500,000	1,794,150
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
【実施内容】						
1. 地域ブランド発掘支援金の交付						
・日生町漁業協同組合：日生牡蠣流通強化を目的とした進物用スリーブ（筒形パッケージ）作成補助 200,000円						

令和３年度事業の内容
【実施内容】 1. 地域ブランド発掘支援金の交付 ・一般社団法人みんなでびぜん：ひなせうみラボ（備前市里海・里山ブランド認証農水産物の販売スペース、地元農水産物レストラン、牡蠣剥き施設、アクアアクティビティ拠点等の複合施設）のＥＣサイト作成補助 ２００，０００円 ・大長 利英（上郡町認定農業者）：上郡町特産のモロヘイヤの粉末を乾麺に混ぜ、商品化を検討する。（イトメンに委託） ２００，０００円
令和４年度事業の内容
【実施内容】 1. 地域ブランド発掘支援金の交付 ・小川 敬生（認定新規就農者） 事業名：あこうフルーツ農園ブランド化推進事業（１９４，１５０円） 内 容：デザインにこだわったブランド拡販物品の作成 ・農事組合法人ファーム・円心 代表理事：河野雅晴（２００，０００円） 事業名：農林水産物又は加工品等の販売強化に係る多様な流通及び販路の開拓等を行うための事業 内 容：ホームページの作成
令和５年度事業の内容
【実施内容】 1. 地域ブランド発掘支援金の交付 ・日生町漁業協同組合：日生牡蠣流通強化を目的とした進物用スリーブ作成補助 ２００，０００円 2. イベント出店支援 ・２月２５日 ひなせかきまつりにおける出店補助 圏域内の農林水産物を圏域の内外にＰＲするための出店料補助 ２５，０００円×４ブース＝１００，０００円
令和６年度事業の内容
【実施内容】 1. 地域ブランド発掘支援金の交付 ・新商品の開発や、販路拡大事業に取り組む農商工業者への支援 ２００，０００円×２連携＝４００，０００円 2. イベント出店支援 ・ひなせかきまつりにおける出店補助 圏域内の農林水産物を圏域の内外にＰＲするための出店料補助 ２０，０００円×５ブース＝１００，０００円
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応
販路拡大に係る対象事業の拡充

達 成 状 況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☐ 継続（現状維持） ☒ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
（千円）	500	500	500	500	500	2,500
重要事業評価 指数（KPI）	地域ブランド化支援件数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				1 団体	2 団体	

（イ）観光振興の推進

○取組の内容

観光振興による地域産業の活性化を図るため、地域の観光資源の発掘やその魅力を活かした観光ルートの設定、旅行代理店等へのPR及びガイドブックの作成を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 赤穂市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 忠臣蔵、塩等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 旅行代理店等と連携、調整を図り、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 上郡町と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 上郡町と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 古代山陽道や赤松氏等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 備前市及び赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。

事業名	観光振興推進事業		関係市町			
			赤穂市・備前市・上郡町			
事業内容	単独の市町では設定できない魅力的な観光ルートを、関係市町が連携して設定し、広域的な観光ガイドブックなどの作成や体験ツアーなどを企画する。さらに、観光キャンペーン等での情報発信やマスメディアを活用した誘客活動を共同で行う。 なお、事業の実施にあたっては、外部アドバイザーの招へい等を行い、事業の円滑な推進を図る。					
効果	知名度の高い観光資源を有効に組み合わせて活用するとともに、海、山、川など豊かな自然環境や景観を活かした新たな観光資源の開発の検討も行い、圏域全体での観光振興の推進を図る。					
事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計

(円)	1,496,000	1,219,999	1,199,000	885,500	900,000	5,700,499
令和2年度事業の内容						
1. 令和2年度事業に関する電話協議 日 時：令和2年8～9月 内 容：令和2年度予算及び実施事業の内容について 2. 第1回観光部会開催 日 時：令和2年12月7日（月） 場 所：ZOOMにて開催 内 容：令和2年度委託事業の内容について 3. 圏域周遊旅行プラン造成委託業務 内 容：圏域の観光コンテンツ調査 既存のインバウンド旅行商品の調査 台湾マーケット向けの旅行商品造成 具体的なコースプラン制作 期 日：令和2年12月25日～令和3年3月19日 委託先：株式会社 イントゥ 委託料：1,496,000円						
令和3年度事業の内容						
1. 部会開催状況 (1) 第1回観光部会 開催日 令和3年6月30日（水） 内 容 令和2年度事業の報告及び今年度実施事業の内容について (2) 第2回観光部会 開催日 令和3年7月1日（木） 内 容 令和3年度事業の内容について (3) 第3回観光部会 開催日 令和3年11月18日（木） 内 容 令和4年度事業の予算見積について (4) 第4回観光部会 開催日 令和4年3月30日（水） 内 容 令和3年度事業の報告について 2. 事業内容 委託名：東備西播圏域周遊旅行プラン造成業務委託契約 内容：旅行商品企画造成（2ルート）、旅行会社商談、OTA掲載 委託先：(株)イントゥ						
令和4年度事業の内容						
1. 部会開催状況 (1) 第1回観光部会						

開催日 令和4年9月28日（水） 内 容 令和3年度事業の報告及び今年度実施事業の内容について （2）第2回観光部会 開催日 令和4年10月5日（水） 内 容 令和4年度事業の内容について 2. 事業内容 委託名：アウトドアコンテンツを活用した東備西播圏域誘客事業 内 容：タウン情報誌への記事掲載、WEB 上での情報発信 委託先：（株）ビザビ
令和5年度事業の内容
1. 部会開催状況 （1）第1回観光部会 開催日 令和5年5月10日（水） 内 容 令和4年度事業報告及び今年度実施事業について （2）第2回観光部会 開催日 令和5年8月8日（火） 内 容 令和5年度事業の内容について 2. 事業内容 委託名 東備西播圏域の魅力発信業務 内 容 タウン情報誌への記事掲載、WEB 上での情報発信 委託先 （株）ビザビ
令和6年度事業の内容
1. 部会開催状況 （1）第1回観光部会 開催日 令和6年5月20日（月） 内 容 令和5年度事業報告及び令和6年度実施事業について （2）第2回観光部会 開催日 令和6年 月 日（ ） 内 容 令和6年度事業の内容について 2. 事業内容 委託名 東備西播圏域の魅力発信業務 内 容 観光パンフレットの作成、WEB 上での情報発信 委託先 （株）ビザビ
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応
インバウンド向けの圏域周遊観光プランの造成や、タウン情報誌への記事掲載及びWEB 上での情報発信等を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、指標とした観光施設が休館するなど主要観光施設入込数は目標値に至らなかった。 コロナ禍の行動制限も無くなり、観光需要は回復傾向にあるため、次期ビジョンにおいては、国内旅行客の確保に向けた事業と合わせ、圏域の観光資源を生かしたインバウンド推進事業にも継続して取り組んでいくこととしたい。

達 成 状 況						
☐ 達成 ☐ 一部達成 ☒ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
（千円）	900	900	900	900	900	4,500
重要事業評価 指数（KPI）	主要観光施設入込数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				257	271	赤穂市：赤穂温泉 備前市：閑谷学校 上郡町：観光案内所

（ウ）鳥獣害防止総合対策

○取組の内容

圏域内の農業被害の軽減及び山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき、各市町が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、赤穂市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 赤穂市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、上郡町と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 上郡町と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。

事業名	有害鳥獣対策事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内各市町の共通課題である野生動物対策について、効果的な獣害低減策に関する情報収集、情報共有化や獣害防護柵の設置支援を実施するとともに、現場で有害鳥獣駆除に携わる各市町の猟友会の活動の側面的支援を行う。	

効 果	圏域内の関係団体が一体となった取組を進めることにより、農作物等への被害を抑制し、イノシシやシカなどの生息状況や生息環境の情報を共有しながら効果的な対策を講じることができる。また、各市町で実際の有害鳥獣駆除業務を担う猟友会の活動支援を行うことで、駆除頭数の増加を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	355,028	286,041	798,280	365,643	740,000	2,544,992
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
【実施内容】 1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給等 ・捕獲活動用消耗品 292,098円 ・捕獲活動用備品修繕 62,930円						
令和 3 年 度 事 業 の 内 容						
1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給 捕獲活動用消耗品 備前市176,241円（殺虫剤、小型箱わな） 赤穂市109,800円（殺虫剤）						
令和 4 年 度 事 業 の 内 容						
【実施内容】 1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給 捕獲活動用消耗品 ・備前市 365,720円（殺虫剤、小型箱わな） ・赤穂市 196,500円（殺虫剤、小型箱わな） ・上郡町 236,060円（殺虫剤、小型箱わな）						
令和 5 年 度 事 業 の 内 容						
【実施内容】 1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給等 ・捕獲活動用消耗品 189,415円 ・捕獲活動用備品 176,228円						
令和 6 年 度 事 業 の 内 容						
【実施内容】 1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給等 ・捕獲活動用消耗品 570,000円 2. 先進地視察 ・旅費、使用料及び賃借料 170,000円						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
野生鳥獣による農作物等への被害は当協議会の共通事項である。 鳥獣被害対策のため、今後も猟友会へ支援等を行っていく。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
	740,000	740,000	740,000	740,000	740,000	3,700,000

重要事業評価 指数 (KPI)	有害鳥獣駆除頭数	現状値 R5	目標値 R11	備考
		※集計中	2,600 頭	

(エ) 企業誘致の推進

○取組の内容

圏域経済の活性化を図るため、連携して企業誘致に必要な情報の収集を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。	企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。
備前市の役割	上郡町の役割
企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。	企業の投資情報等の収集活動を行い、圏域への企業誘致を推進する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	市町等が所有する工業団地用地や民間の未利用地等への企業立地及び既存企業の設備投資による事業拡張を促進するため、企業の投資情報等の収集活動など企業誘致活動を推進する。					
効果	住民の雇用の安定及び拡大を図るため、圏域への企業誘致と合わせて既存企業の事業拡張を促進し、圏域経済の拡大及び定住人口の確保を図り、圏域全体の活性化を推進する。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	759,550	877,800	799,650	728,743	900,000	4,065,743
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
○自治体×企業 オンラインマッチングイベントへの出展 サテライトオフィス誘致のため、㈱あわえが主催するマッチングイベントに出展した。 今年は、コロナの影響で、オンラインでの開催となった。 日 時 令和 2 年 1 1 月 1 1 日 (水) 商 談 日 令和 2 年 1 1 月 2 5 日 (水)、2 6 日 (木) 面談企業 1 6 社						
令和 3 年 度 事 業 の 内 容						
○令和 3 年 9 月 2 9 日 第 1 回部会 企業誘致担当者会 製造業を中心とした誘致活動以外にも、情報通信や研究所、サテライトオフィスといった I T 企業等の誘致に向けて事業実施する旨を確認した ○令和 3 年 1 1 月 1 2 日 第 2 回部会 企業誘致担当者会 関係機関との協議を経て、業者を介して企業との直接面談を実施する方向で決定した。						

・令和4年2月9日・10日 企業面談会を予定したが、蔓延防止等重点措置のため延期となった。 ・令和4年3月17日・18日 再度日程を組んだが、蔓延防止等重点措置延長のためオンライン開催に変更となった。 ○令和4年3月15日～18日 オンライン形式で、在京5社と Web 面談を実施した。
令和4年度事業の内容
○令和4年6月9日 第1回部会 企業誘致担当者会 総務省主催の「サテライトオフィス・マッチングセミナー」への出展及び地方進出意向のある企業との面談を、令和4年度の事業方針として決定した。 ○令和4年9月14日 事業者と面談 第1回部会にて決定した事業方針の一つである企業との面談について、地方進出意向のある企業を選定してもらうため、事業者とオンライン協議を行った。 ○令和4年9月27日 第2回部会 企業誘致担当者会 企業との面談に係る業務委託に向け、ターゲットの選定等について協議を行った。 ○令和4年10月20日 第3回部会 企業誘致担当者会 「サテライトオフィス・マッチングセミナー」の出展に係る方法、準備物など確認した。 ○令和4年11月9日 「サテライトオフィス・マッチングセミナー」出展 参加者と面談をして2市1町の情報提供及び進出要望を行った。 ○令和4年11月10日 進出意向企業と面談 東備西播地域へ進出意向のある企業の方と面談をして情報提供を行った。 また、関連企業の紹介等をしていただき、意見交換を行った。
令和5年度事業の内容
○第1回 企業誘致部会 5月30日 場所 上郡町役場 ○第2回 企業誘致部会 7月5日 場所 上郡町役場 ○第3回 企業誘致部会 11月15日 場所 上郡町役場 ○企業誘致開発先進地視察（新潟市役所）8月24日、25日 進出企業ニーズ調査業務委託 549,703円 委託先 株式会社帝国データバンク 内 容 企業誘致調査のための企業概要ファイルリストアップ
令和6年度事業の内容
○第1回 企業誘致部会 5月28日 場所 赤穂市役所 ○第2回 企業誘致部会 7月31日 場所 赤穂市役所 ○企業誘致開発先進地視察（豊後高田市役所、大牟田市役所）10月17日、18日 進出企業アンケート調査業務委託 688,998円 委託先 株式会社帝国データバンク 内 容 令和5年度に抽出した企業を対象に、備前市、赤穂市、上郡町への進出意向に係るアンケート調査を実施
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応

東備西播定住自立圏（令和２年度～令和６年度）の計画期間中、企業誘致部会としては、共生ビジョンに定める重要業績指標（新規誘致事業者件数）を達成したところである。

しかし、令和６年度に人口戦略会議が公表した「令和６年・地方自治体「持続可能性」分析レポート」において、備前市・上郡町は消滅可能性自治体に、赤穂市もほぼ消滅可能性自治体に該当すると分類された。当該分類の基準となっているのは、「２０～３９歳の女性人口」（以下「若年女性」）であり、この年代の女性人口を増加させることは東備西播定住自立圏の構成市町に共通した喫緊の課題となっている。

一方、全国的な問題ではあるものの、圏域内の人口減少に改善の兆しはなく、圏域内の企業が従業員を十分に確保できない状況が続いていることから、企業留置・企業誘致の観点からも人口規模の維持確保に努める必要性が極めて高い。

そのため、次期共生ビジョンにおいては、圏域内の若年女性人口の維持・増加を図るため、圏域外から圏域内の企業に就職する若年女性に対して奨励金を支給することで、構成市町の持続可能性を高める取組を実施したい。

達 成 状 況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☐ 継続（現状維持） ☒ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
（千円）	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
重要事業評価 指数（KPI）	奨励金を活用して圏域内企業に就職した若年女性の数（人）			現状値 R5	目標値 R11	備考
				0	80	

むすびつきやネットワークの強化

【ア. 地域公共交通】

(ア) 地域公共交通ネットワークの構築

○取組の内容

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線の充実・構築及びＪＲ山陽本線、赤穂線の利便性向上に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 赤穂市と協力、連携して両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 圏域内住民の移動手段を確保するため、両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけを行う。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 上郡町と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 備前市及び赤穂市と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道㈱等関係機関への働きかけを行う。

事業名	圏域バス運行事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域バスを運行する。					
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。					
事業費 (円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計
	14, 251, 632	14, 644, 241	15, 046, 372	15, 540, 749	19, 425, 000	78, 907, 994

令和２年度事業の内容

【運行実績】下記のとおり

圏域バス運行状況一覧表

区分	総括					上郡町					備前市				
	運行 口数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 口数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 口数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
R2.4	26	735	28.3	3.6	2.6	26	472	18.2	4.6	3.1	26	263	10.1	2.5	2.1
R2.5	26	713	27.4	3.5	2.6	26	458	17.6	4.4	3.0	26	255	9.8	2.5	2.2
R2.6	26	1,014	39.0	4.9	3.6	26	599	23.0	5.8	3.8	26	415	16.0	4.0	3.4
R2.7	27	865	32.0	4.0	3.0	27	561	20.8	5.2	3.4	27	304	11.3	2.8	2.5
R2.8	26	820	31.5	4.0	2.9	26	546	21.0	5.3	3.5	26	274	10.5	2.6	2.3
R2.9	26	879	33.8	4.3	3.2	26	560	21.5	5.4	3.6	26	319	12.3	3.1	2.7
R2.10	27	842	31.2	3.9	2.9	27	510	18.9	4.7	3.2	27	332	12.3	3.1	2.5
R2.11	25	787	31.5	4.0	2.9	25	421	16.8	4.2	2.7	25	366	14.6	3.7	3.1
R2.12	24	765	31.9	4.0	2.8	24	482	20.1	5.0	3.3	24	283	11.8	3.0	2.3
R3.1	24	607	25.3	3.2	2.4	24	337	14.0	3.5	2.4	24	270	11.3	2.8	2.3
R3.2	24	607	25.3	3.2	2.4	24	371	15.5	3.9	2.5	24	236	9.8	2.5	2.2
R3.3	27	797	29.5	3.7	2.7	27	514	19.0	4.8	3.1	27	283	10.5	2.6	2.2
R2計	308	9,431	30.6	3.8	2.8	308	5,831	18.9	4.7	3.1	308	3,600	11.7	2.9	2.5

令和３年度事業の内容

【運行実績】下記のとおり

圏域バス運行状況一覧表

区分	総括					上郡ルート					備前ルート				
月	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
R3.4	26	759	29.2	3.7	2.6	26	445	17.1	4.3	2.9	26	314	12.1	3.0	2.3
R3.5	26	697	26.8	3.4	2.5	26	444	17.1	4.3	3.0	26	253	9.7	2.4	1.9
R3.6	26	733	28.2	3.5	2.6	26	471	18.1	4.5	3.1	26	262	10.1	2.5	2.1
R3.7	27	780	28.9	3.6	2.7	27	489	18.1	4.5	3.1	27	291	10.8	2.7	2.3
R3.8	26	729	28.0	3.6	2.6	26	464	17.8	4.5	3.2	26	265	10.2	2.6	2.0
R3.9	26	728	28.0	3.5	2.8	26	428	16.5	4.1	3.1	26	300	11.5	2.9	2.4
R3.10	26	778	29.9	3.8	3.0	26	427	16.4	4.1	2.9	26	351	13.5	3.4	3.0
R3.11	26	782	30.1	3.8	2.8	26	466	17.9	4.5	2.8	26	316	12.2	3.1	2.7
R3.12	24	859	35.8	4.5	3.2	24	534	22.3	5.6	3.5	24	325	13.5	3.4	2.9
R4.1	24	591	24.6	3.1	2.3	24	334	13.9	3.5	2.5	24	257	10.7	2.7	2.1
R4.2	24	557	23.2	2.9	2.2	24	309	12.9	3.2	2.2	24	248	10.3	2.6	2.1
R4.3	27	695	25.7	3.2	2.3	27	402	14.9	3.7	2.5	27	293	10.9	2.7	2.1
R3 計	308	8,688	28.2	3.5	2.6	308	5,213	16.9	4.2	2.9	308	3,475	11.3	2.8	2.3

令和４年度事業の内容

【運行実績】下記のとおり

圏域バス運行状況一覧表

区分	総括					上郡ルート					備前ルート				
月	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
R4.4	26	772	29.7	3.8	2.8	26	422	16.2	4.1	2.8	26	350	13.5	3.4	2.7
R4.5	26	725	27.9	3.5	2.7	26	416	16.0	4.0	2.8	26	309	11.9	3.0	2.5
R4.6	26	712	27.4	3.4	2.5	26	428	16.5	4.1	2.8	26	284	10.9	2.7	2.2
R4.7	26	765	29.4	3.7	2.7	26	466	17.9	4.5	3.0	26	299	11.5	2.9	2.3
R4.8	27	756	28.0	3.5	2.6	27	440	16.3	4.1	2.7	27	316	11.7	2.9	2.5
R4.9	26	732	28.2	3.6	2.7	26	416	16.0	4.0	2.9	26	316	12.2	3.1	2.5
R4.10	26	887	34.1	4.3	3.0	26	536	20.6	5.2	3.1	26	351	13.5	3.4	2.8
R4.11	26	961	37.0	4.6	2.8	26	648	24.9	6.2	3.2	26	313	12.0	3.0	2.4
R4.12	24	880	36.7	4.6	3.1	24	540	22.5	5.6	3.2	24	340	14.2	3.6	2.9
R5.1	24	758	31.6	4.0	2.7	24	446	18.6	4.7	2.8	24	312	13.0	3.3	2.5
R5.2	24	904	37.7	4.8	3.4	24	591	24.6	6.2	4.0	24	313	13.0	3.3	2.7
R5.3	27	1,078	39.9	5.0	3.6	27	722	26.7	6.7	4.4	27	356	13.2	3.3	2.7
R4計	308	9,930	32.2	4.0	2.9	308	6,071	19.7	4.9	3.1	308	3,859	12.5	3.1	2.6

令和５年度事業の内容

【運行実績】下記のとおり

区分	総括					上郡ルート					備前ルート				
月	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
R5.4	25	1,018	40.7	5.2	3.7	25	624	25.0	6.3	4.0	25	394	15.8	4.0	3.3
R5.5	27	1,014	37.6	4.7	3.4	27	594	22.0	5.5	3.5	27	420	15.6	3.9	3.3
R5.6	26	973	37.4	4.7	3.3	26	603	23.2	5.8	3.7	26	370	14.2	3.6	2.9
R5.7	26	901	34.7	4.4	3.2	26	557	21.4	5.4	3.6	26	344	13.2	3.3	2.8
R5.8	27	929	34.4	4.3	3.0	27	572	21.2	5.3	3.2	27	357	13.2	3.3	2.7
R5.9	26	973	37.4	4.7	3.4	26	581	22.3	5.6	3.5	26	392	15.1	3.8	3.2
R5.10	26	1,038	39.9	5.0	3.7	26	644	24.8	6.2	4.0	26	394	15.2	3.8	3.3
R5.11	26	905	34.8	4.4	3.3	26	560	21.5	5.4	3.7	26	345	13.3	3.3	2.8
R5.12	24	867	36.1	4.5	3.3	24	548	22.8	5.7	3.7	24	319	13.3	3.3	2.8
R6.1	24	817	34.0	4.3	3.3	24	528	22.0	5.5	3.9	24	289	12.0	3.0	2.6
R6.2	25	850	34.0	4.3	3.2	25	535	21.4	5.4	3.7	25	315	12.6	3.2	2.7
R6.3	26	953	36.7	4.6	3.4	26	613	23.6	5.9	4.0	26	340	13.1	3.3	2.8
R5計	308	11,238	36.5	4.6	3.3	308	6,959	22.6	5.7	3.7	308	4,279	13.9	3.5	2.9
令和6年度事業の内容															
○圏域バスの運行、維持															
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応															
人件費の高騰やバスの運転手の不足により、維持が困難になっている現状がある。だが、地方部にとっては、バスは欠かせない存在になっているので、利用促進やバス運転手の採用増加に向けた取組を行っていく必要がある。															
達成状況															
□達成 ■一部達成 □検討中															
今後の方向性															
☒ 継続（拡充） □継続（現状維持） □継続（改善） □継続（縮小） ☐ 継続（統合） □休止 □廃止 □終了															
事業費【見込】	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計									
(千円)	20,000	20,500	21,000	21,500	22,000	105,000									
重要事業評価指数 (KPI)	圏域バス乗車人数				現状値 R5	目標値 R11	備考								
					11,238	18,000	※R6.4月にルート再編実施								

事業名	J R 利便性向上事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	J R 山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、関係市町により J R 西日本等関係機関への働きかけを行う。	
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。	

事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	1,878	56,384	293,972	281,495	550,000	1,183,729
令和 2 年度 事業 の 内 容						
○JR への要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会、兵庫県、岡山県） 新型コロナウイルス感染症の予防等の観点から要望会は実施されず、JR 西日本神戸支社と岡山支社へ8月26日付で郵送にて要望書を提出した。						
令和 3 年度 事業 の 内 容						
○JR への要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会、兵庫県、岡山県） 新型コロナウイルス感染症の予防等の観点から要望会は実施されず、JR 西日本神戸支社と岡山支社へ5月下旬に郵送にて要望書を提出						
令和 4 年度 事業 の 内 容						
○JR の利用促進を啓発するための活動を行った。 実施日：5月27日（金） 場 所：備前市（JR 西片上駅）、赤穂市（JR 播州赤穂駅、JR 有年駅）、上郡町（JR 上郡駅） 内 容：各駅にポスターとのぼりを掲示し、乗降客に啓発グッズ(ボールペン・ポケットティッシュ・パンフレット)を配布した。 ○朝夕の通勤・通学時間帯におけるダイヤの確保や旧ダイヤの復活等について要望した。 ・JR 西日本兵庫支社 提出日：11月14日（月） ・JR 西日本岡山支社 提出日：11月25日（金） ○昼間時間帯に往復2便の減便になったダイヤについて嘆願書を提出した。 ・JR 西日本兵庫支社 提出日：2月6日（月） ・JR 西日本岡山支社 提出日：2月7日（火） ○その他の活動 令和4年9月1日にJR 赤穂線全線が開通し60周年を迎えるにあたり、赤穂高等学校の生徒の代表からJR 播州赤穂駅の駅長に対して、花束等贈呈のセレモニーを開催した。 開催日：9月1日（木）						
令和 5 年度 事業 の 内 容						
○JR 促進を啓発するための活動を行った。 ・JR 西片上駅、JR 播州赤穂駅、JR 有年駅、JR 上郡駅にポスターとのぼりを掲示した。 ・5月26日（金）にマックスバリュ上郡南店、5月30日（火）にイオン赤穂店及びマックスバリュ備前店にて啓発グッズ（ウェットティッシュ）を配布した。						
令和 6 年度 事業 の 内 容						
○JR 利用促進のため、Instagram を利用したフォトコンテストを行う。 ・募集期間：令和6年8月19日～令和6年10月31日 ○JR への要望会を予定 ・11月 JR 岡山支社、兵庫支社						

事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
新型コロナウイルスの蔓延により、JRの経営状況が悪化し、赤字路線については減便の傾向が増えてきた。JRの利用を維持していくために、JRに継続して要望を行い、より一層JRの利用促進に力を入れていきたい。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度 500	R8 年度 500	R9 年度 500	R10 年度 500	R11 年度 500	計 2,500
重要事業評価 指数 (KPI)	圏域内における JR 駅の乗車人数			現状値 R4	目標値 R11	備考
				9,153	11,000	

【イ. ICTインフラ整備】

（ア）地域情報ネットワークシステムの構築

○取組の内容

圏域内の地域情報を、行政、各種団体、個人が、インターネットを介し、容易に発信や入手できる地域コミュニティサイトの構築に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に赤穂市と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトを検討する会議を主催し、地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に上郡町と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に備前市及び赤穂市と協力して取り組む。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	圏域内の地域情報の交流と活性化を図り、魅力ある圏域を形成するため、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を推進する。					
効果	公式ホームページによる行政情報は行政からの一方通行であるが、地域SNSは、行政と住民、住民と住民など、双方向から発信することができるため、関係市町間及び行政と住民間の情報共有並びに地域社会及び地方行政への住民参画を図る。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	—	—	—	—	—

令和２年度事業の内容						
地域SNSを引き続き運用 圏域ホームページを兼ねた地域ポータルサイトを、事業者の独立採算により運用し、地域コミュニティの活性化を図った。 令和２年度ともりんくアクセス数 ３０，８８９人						
令和３年度事業の内容						
○地域SNSを引き続き運用 圏域ホームページを兼ねた地域ポータルサイトを、事業者の独立採算により運用し、地域コミュニティの活性化を図った。 令和３年度ともりんくアクセス数 ２９，０９２人						
令和４年度事業の内容						
○地域SNSを引き続き運用。 圏域ホームページを兼ねた地域ポータルサイトを、事業者の独立採算により運用し、地域コミュニティの活性化を図った。 令和４年度ともりんくアクセス数 ３２，４７０人						
令和５年度事業の内容						
地域SNSを引き続き運用。 圏域ホームページを兼ねた地域ポータルサイトを、事業者の独立採算により運用し、地域コミュニティの活性化を図った。 令和５年度ともりんくアクセス数 ５１，０５０人						
令和６年度事業の内容						
地域SNSを引き続き運用。 圏域ホームページを兼ねた地域ポータルサイトを、事業者の独立採算により運用し、地域コミュニティの活性化を図る。						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
平成２４年１１月より地域SNSを兼ねた圏域ホームページ「ともりんく」を開設し、市町間、住民間、行政と住民間の情報共有を図り、地域コミュニティの活性化に努めてきた。 SNS（X（旧Twitter）やInstagram、LINE等）の普及により、地域情報の発信や市民間の情報交流といった本事業の目的は充足されつつあるが、地域の身近なコミュニティサイトとして、地域SNS「ともりんく」の存在を示す必要がある。 そのため、地域や市民団体等のイベント情報、市民サークルの活動情報、街中ニュースのロコミ等「ともりんく」の機能が十分に発揮できるよう、積極的なPR等に努めるとともに、今後の各市町のDXの展開に注視しながらHPやSNSとの併用方法等についても研究する必要がある。						
達成状況						
☒達成 ☐一部達成 ☐検討中						
今後の方向性						
☐継続（拡充） ☐継続（現状維持） ☒継続（改善） ☐継続（縮小） ☐継続（統合） ☐休止 ☐廃止 ☐終了						
事業費【見込】 (千円)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計
	—	—	—	—	—	—

重要事業評価 指数（KPI）	ホームページ閲覧数	現状値 R5	目標値 R11	備考
		51,050 人	52,000 人	

【ウ．地域内外の住民との交流・移住促進】

住民交流

○取組の内容

圏域内の住民交流を活性化させるため、赤穂国際音楽祭等住民交流に資するイベント等を実施又は支援し、にぎわいの創出、相互の理解を深める。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	赤穂国際音楽祭等の開催に向けて必要な調整を行うとともに、備前市と連携して住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	備前市及び赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	民間事業者等が行うイベントで、圏域内の複数の市町において実施するとともに、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために実施するものに対し、助成を行う。					
効果	住民の交流を促進するとともに、住民自身の直接参画によるイベント等の開催を支援することにより、住民と行政の協働による圏域づくりを目指した取り組みを進める。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	555,995	582,327	886,998	994,396	1,560,000	4,579,716
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
- 令和 2 年度 応募団体 11 団体 4 月 25 日に公開審査の予定であったが、全国で新型コロナウイルス感染症が拡大していた状況を鑑み、書類審査において、次の 11 団体について支援を決定した。（新規：2 団体） - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4 団体がイベントを中止した。 - 条件を遵守しなかったため、1 団体の交付決定を取り消した。						

受付 番号	活 動 事 業 名	事 業 概 要
	団 体 名	
1	戦国武将よろいカブト交流事業2020	圏域内の歴史資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地として、親子などで手づくりのよろいカブトを作成し、11月の「白旗城まつり」や12月の「赤穂義士祭」などにおいて行列を披露します。
	赤松手作り鎧・兜の会	
2	第7回 赤穂市 備前市 上郡町定住自立圏推進交流 ターゲットバードゴルフ大会	ニュースポーツとして、ターゲットバードゴルフを普及させることを目指して、2市1町の友好親善と交流を図るとともに、生涯スポーツとしてターゲットバードゴルフを発展させ、健康づくりに貢献します。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
3	ほっとたいむミュージックセラピーコンサート	音楽療法の普及と発展を目指し、音楽を通して少しでも多くの方々に音楽の力を体験してもらい、健康の保持・増進を図ります。 また、音楽を楽しみながら、誤嚥予防、脳トレーニング、認知症予防等の介護予防に繋がります。
	音楽療法研究会 ♪ほっとたいむ♪	
4	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	2市1町ともグラウンド・ゴルフ人口が多く、それぞれの地域で盛んにグラウンド・ゴルフが行われており、健康増進やコミュニケーションの向上に繋がっています。 グラウンド・ゴルフの技術向上や交流を図ることにより仲間づくりに資するとともに高齢者が生きがいを感じる事ができる大きな意義があると期待しています。
	備前市グラウンド・ゴルフ協会 吉永会	
5	八塔寺 星まつり 2020	人工光に邪魔されない美しい星空を体験することにより豊かな情操や科学する心を育みます。 親子で参加できる天体望遠鏡工作教室や、星景写真撮影講座などを実施し、天文学の普及や生涯学習を推進します。
	八塔寺星を観る会	
6 新規	日本遺産を活かした定住自立圏の活性化と住民交流事業 ～塩の日の落語会～	赤穂市が「日本第1の塩を産したまち」として日本遺産に認定されたことを契機に、2市1町の日本遺産を活かした定住自立圏の活性化と、2市1町の文化協会の会員を含めた圏域内外の住民交流を図ります。 今年度は、落語を通じて東備西播定住自立圏の魅力を発信するとともに、圏域内外の住民交流と親睦を推進します。
	赤穂市文化協会	
7	2020羽音色ハッピークリスマスコンサート	老若男女、身体の不自由さなどを問わず、誰もが気軽に音楽を楽しむことができるバリアフリーコンサートとして多くの方に周知します。 人々の多様性について、お互いを尊重し合い、それぞれの人に応じた配慮があることに気づき、誰もが住みやすい、より良い地域作りを目指します。
	赤穂笛の会 羽音色	
8	第7回AKBバスケットボール大会	2市1町のバスケットボール協会と協力し、ミニバスケットボールの普及をさらに推進し、住民相互の交流と競技力の向上を図ります。 ミニバスケットだけではなく、高校一般の大会も行い、2市1町のみならず近隣地区の多くのバスケットボールチームと交流を図ります。
	赤穂市バスケットボール協会	
9	バレンタイン ダンスパーティー	年齢や性別に関係なく、誰もが自分のスペースで社交ダンスを楽しみながら健康維持を図り、新しいステップを覚えることは脳の活性化に効果的であり、異性を意識して身だしなみやマナーにも気を遣います。 また、引き籠りがちな高齢者が外出するきっかけに繋がります。
	赤穂ダンスクラブ	
10	史跡探訪会(圏域渡来人遺跡等を訪ね歩く)	圏域内に存在する秦氏や曾我氏などの渡来人関係遺跡や、日本遺産(閑谷学校、備前焼古窯、北前船寄港地・船主集落、赤穂塩)の構成文化財を訪ね歩きます。 これらの歴史文化遺産は、郷土の誇りであるため、地域に愛着を抱かせる心を育み、歴史文化遺産保存の顕彰と継承の寄与に努めます。
	東備西播定住自立圏史跡探訪会	
11 新規	AKBフォトウェディング	今一度、地元の良さを知っていただき、3地域だからこそできる結婚式を挙げることに、地域の賑わいを生み出し、町の活性化に繋がります。 結婚式や披露宴はしないけれど、結婚の思い出は形に残したい。事情があつて結婚式をしていない、費用を抑えたいというカップルや夫婦の希望に柔軟に対応し、「地元でやってよかった」と思っていたけよう努めます。
	AKBフォトウェディングプロジェクト実行委員会	

令和 3 年 度 事 業 の 内 容	
○令和3年度応募団体 8団体	
○4月24日に公開審査の予定であったが、全国で新型コロナウイルス感染症が拡大していた状況を鑑	

み、書類審査において、次の8団体について支援決定（新規なし）

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、赤穂ダンスクラブと赤穂軟式野球協会の2団体がイベントを中止

	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	ほっとたいむミュージックセラピーコンサート	音楽療法の普及と発展のため、「音楽の力で心も身体も健康に！」をモットーに音楽を楽しみながら、誤嚥予防、脳トレーニング、認知症予防等の介護予防のミュージックセラピーコンサートを開催します。
	音楽療法研究会“ほっとたいむ”	
2	八塔寺星 星まつり 2021	八塔寺ふるさと村内において、星空の観望や写真撮影、天体観測を通じて、天文学の普及や青少年の健全育成ならびに生涯学習を推進します。
	八塔寺星を観る会	
3	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	2市1町ともグラウンド・ゴルフ人口が多く、地域間の交流大会を通してグラウンド・ゴルフの技術向上、仲間づくり、高齢者の生きがいづくりを推進します。
	備前市グラウンド・ゴルフ協会 吉永会	
4	第8回 赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流 ターゲットバードゴルフ大会	高齢者の健康維持、趣味の増進、地域間の交流を目的にターゲットバードゴルフ大会を開催します。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
5	ヴァレンタイン ダンスパーティー	年齢・性別に関係なく、誰もが自分のペースで社交ダンスを楽しみながら健康維持を図るとともに、引きこもりがちな高齢者の外出するきっかけになるようつなげます。
	赤穂ダンスクラブ	
6	第11回東備西播定住自立圏推進交流中学校野球大会	2市1町および西播磨3市2町の合計5市3町16の中学校による野球大会を開催し、スポーツを通じた人の交流を図ることで、青少年の健全育成と技術の向上を目指します。
	赤穂軟式野球協会	
7	第8回AKBカップミニバスケットボール大会	2市1町のバスケットボール協会と連携し、ミニバスケットボールの普及をさらに推進し、住民相互の交流と競技力の向上を図ります。
	赤穂市バスケットボール協会	
8	AKB(赤穂・上郡・備前)縁結び婚活事業	2+A3:D18市1町で参加者を募集し、縁結び婚活事業を実施することで交流が生まれ、結婚に関心を示してもらうことで、それぞれの地元でのフォトウェディングに結び付け、地域の活性化につなげます。
	AKBフォトウェディングプロジェクト実行委員会	

令和4年度事業の内容

○募集团体 9団体

○4月23日（土）に審査会を実施し、次の9団体について支援決定（新規3団体）

受付 番号	活 動 事 業 名	事 業 概 要
	団 体 名	
1	千種川リバーアスロン2022	我々の住む地域が自然豊かで素晴らしい地域であることを全国的にアピールし、多くの方々が千種川流域に に来訪されることを企図するとともに、地域の皆さんとの連携をさらに深めることを目的として「千種川リバー アスロン」を実施します。
	上郡校区まちづくり推進委員会	
2	第9回AKBバスケットボール大会	2市1町のバスケットボール協会と協力して、ミニバスケットボールの普及をさらに推進し、住民相互の交流 と競技力の向上を図ります。 またミニバスケットだけではなく、一般の大会も行い、2市1町のみならず近隣地区の多くのバスケットボー ルチームと交流を図ります。
	赤穂市バスケットボール協会	
3	AKBフリーマーケット「蔵市」	赤穂市や備前市のアーティストと連携し、継続的に「フリーマーケット」を実施することでにぎわいを創出し ながらもアーティスト間のコミュニケーションを高め、東備・西播地域のつながりを維持します。
	NPO法人上郡ひがし蔵net	
4	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	2市1町ともグラウンド・ゴルフ人口が多く、それぞれの地域で盛んにグラウンド・ゴルフが行われており、健 康増進やコミュニケーションの向上に繋がっています。 グラウンド・ゴルフの技術向上や交流を図ることにより、仲間づくりに資するとともに高齢者が生きがいを感じ ることができる大きな意義があると期待しています。
	備前市グラウンド・ゴルフ協会 吉永会	
5	ミュージックセラピーコンサート	音楽療法の普及と発展を目指して、音楽を通して少しでも多くの方々に音楽の力を体験してもらい、健康の 保持・増進を図ります。 また、音楽を楽しみながら、誤嚥予防、脳トレーニング、認知症予防等の介護予防に繋がります。
	音楽療法研究会“ほっとたいむ”	
6	第30回赤穂市近隣中学校軟式野球大会兼2市1町東備西播定住自立圏推進交流野球大会	2市1町及び西播磨3市2町の合計5市3町16の中学校による野球大会を開催し、スポーツを通じた人の交 流を図ることで、青少年の健全育成と技術の向上を目指します。
	赤穂軟式野球協会	
7	AKB縁結び婚活事業	赤穂市・上郡町・備前市の良さを知ってもらい、地元で結婚式を挙げることににより、地域の賑わいを産み出 し、町の活性化に繋がります。
	AKBフォトウェディングプロジェクト実行委員会	
8	赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流ター ゲットバードゴルフ大会	ニュースポーツとして、ターゲットバードゴルフを普及させることを目指して、2市1町の友好親善と交流を図 るとともに、生涯スポーツとしてターゲットバードゴルフを発展させ、健康づくりに貢献します。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
9	秦氏魅力向上フェスティバル	圏域内に知られている歴史文化遺産はもとより、埋もれた歴史文化遺産も掘り起こし、それらの資料の情報 収集、さらには情報発信に努めます。
	地域歴史文化遺産魅力向上実行委員会	
令和5年度事業の内容		
○募集团体 10団体		
○4月22日(土)に審査会を実施し、次の10団体について支援決定(新規1団体)		

受付 番号	活 動 事 業 名	事 業 概 要
	団 体 名	
1	県境の故郷をサイクリングの聖地に!!	5年前より地域の資源を生かす活動として清流千種川を活用したイベント(千種川リバーアスロン)に取り組み、広く認知される状況になっています。今年度はサイクリングに特化した活動にシフトし、交流人口を増やして地域の魅力をアピールします。
	上郡校区まちづくり推進委員会	
2	三都 (AKB) ミュージックストリート	地元ゆかりのあるミュージシャンを招聘し、ジャズフェスティバルを開催します。「三都 (AKB) ミュージックストリート」と称して、交流人口を拡大することを主眼に、県境の地域(赤穂市・上郡町・備前市)で複数回開催し、芸術文化活動を推進するとともに、交流の場を増やすことで地域活性化を図ります。
	3Mプロジェクト協議会	
3	星を観る会大観望会	星空の観望や写真撮影、天体観測を通じて八塔寺の星空の素晴らしさを広め、天文学の普及、青少年の健全育成並びに生涯学習の推進を図ります。毎月の定期的な観望会に加えて、年一回の大観望会を開催します。
	八塔寺星を観る会	
4	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	2市1町ともグラウンド・ゴルフ人口が多く、それぞれの地域で盛んにグラウンド・ゴルフが行われており、健康増進やコミュニケーションの向上に繋がっています。グラウンド・ゴルフの技術向上や交流を図ることにより、仲間づくりに資するとともに高齢者が生きがいを感じることができる大きな意義があると期待しています。
	備前市グラウンド・ゴルフ協会 吉永会	
5	ほっとたいむミュージックセラピーコンサート	音楽療法の普及と発展を目指し、音楽を通して少しでも多くの方々に音楽の力を体験してもらい、健康の保持・増進を図ります。また、音楽を楽しみながら、誤嚥予防、脳トレーニング、認知症予防等の介護予防に繋がります。
	音楽療法研究会“ほっとたいむ”	
6	劇団花みずき単独公演	2市1町の人々に演劇、ジャズダンスを観劇してもらうことにより、地域の活性化や文化の発展に繋がります。
	劇団花みずき	
7	秦氏ゆかりの史跡探訪会	圏域内に知られている歴史文化遺産はもとより、埋もれた歴史文化遺産をも掘り起こすために、秦氏ゆかりの場所を訪れる探訪会を開催し、資料の情報収集、さらには情報発信に努めます。
	秦氏を学ぶ会	
8	赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会	ニュースポーツとして、ターゲットバードゴルフを普及させることを目指して、2市1町の友好親善と交流を図るとともに、生涯スポーツとしてターゲットバードゴルフを発展させ、健康づくりに貢献します。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
9	AKBえん結び交流事業	赤穂市・上郡町・備前市の良さを知ってもらい、婚活、地元で結婚式、交流イベントなどを実施することにより、圏域の人を繋げ、賑わいを産み出すことで地域活性化に繋がります。
	えん結びプロジェクト実行委員会	
10	第10回AKBカップミニバスケットボール大会	2市1町のバスケットボール協会と協力して、ミニバスケットボールの普及を推進し、住民相互の交流と競技力の向上を図ります。また、ミニバスケットだけではなく、一般の大会も行い、2市1町のみならず近隣の多くのバスケットボールチームと交流を図ります。
	赤穂市バスケットボール協会	

令和 6 年 度 事 業 の 内 容

受付 番号	活 動 事 業 名	事 業 概 要
	団 体 名	
1	県境の故郷をサイクリングの聖地に!!	5年前より地域の資源を生かす活動として清流千種川を活用したイベント(千種川リバーアスロン)に取り組み、広く認知される状況になっています。昨年度より、サイクリングに特化した活動にシフトし、交流人口を増やして地域の魅力をアピールします。
	上郡校区まちづくり推進委員会	
2	文化芸術活動を通じた交流会	市民文化祭等との連携を図り、文化芸術を通じて、2市1町の大人や子供が交流できるようなイベントを開催します。
	涙活サークルTears(ティアーズ)	
3	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	2市1町ともグラウンド・ゴルフ人口が多く、それぞれの地域で盛んにグラウンド・ゴルフが行われており、健康増進やコミュニケーションの向上に繋がっています。グラウンド・ゴルフの技術向上や交流を図ることにより、仲間づくりに資するとともに高齢者が生きがいを感じることができる大きな意義があると期待しています。
	備前市グラウンド・ゴルフ協会 吉永会	
4	八塔寺星を観る会夏の大観望会	星空の観望や写真撮影、天体観測を通じて八塔寺の星空の素晴らしさを広め、天文学の普及、青少年の健全育成並びに生涯学習の推進を図ります。毎月の定期的な観望会に加えて、年一回の大観望会を開催します。
	八塔寺星を観る会	

5	ほっとたいむミュージックセラピーコンサート	音楽療法の普及と発展を目指し、音楽を通して少しでも多くの方々に音楽の力を体験してもらい、健康の保持・増進を図ります。 また、音楽を楽しみながら、誤嚥予防、脳トレーニング、認知症予防等の介護予防に繋がります。
	音楽療法研究会“ほっとたいむ”	
6	秦氏ゆかりの史跡探訪会	圏域内に知られている歴史文化遺産はもとより、埋もれた歴史文化遺産をも掘り起こすために、秦氏ゆかりの場所を訪れる探訪会、一般公開の学習会(研修会)を開催し、資料の情報収集、さらには情報発信に努めます。
	秦氏を学ぶ会	
7	第1回 納涼祭	2市1町の団体と交流を深め、広域的な交流を深めるために、花火大会等を行う、納涼祭を開催します。
	交流広場「たかた」協議会	
8	劇団花みずき特別公演	2市1町の人々に演劇、ダンスショーを観劇してもらうことにより、地域の活性化や文化の発展に繋がります。
	劇団花みずき	
9	AKBえん結び交流事業	2市1町の良さを知ってもらい、婚活、地元で結婚式、交流イベントなどを実施することにより、圏域の人を繋ぎ、賑わいを産み出すことで地域活性化に繋がります。
	えん結びプロジェクト実行委員会	
10	西日本歌謡連合 桜サク会 発表会	お食事処やカラオケ喫茶で2市1町の人々の交流が図っていけるように、カラオケなどの歌の発表会を行い、地域活性化に繋がります。
	N.R.S西日本歌謡連合 桜サク会	

事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応

圏域内のさまざまな民間イベント実施団体に対し助成することで、圏域内の住民交流を促進するとともに、にぎわいの創出、3市町の相互理解に資することができ、一定の成果があったものとする。

民間のイベントが定着し、新規の団体はR3毎年1つ以上申請がある。その反面、イベントが形骸化し、補助金だけの団体も増加してきた。その対応も今後検討すべきである。

達成状況

☐達成 ☒一部達成 ☐検討中

今後の方向性

☐継続（拡充） ☒継続（現状維持） ☐継続（改善） ☐継続（縮小）
☐継続（統合） ☐休止 ☐廃止 ☐終了

事業費【見込】	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計
(千円)	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560	7,800
重要事業評価 指数 (KPI)	民間イベント新規助成決定団体数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				1	4	

事業名	こどもと学生のふれあい活動支援事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内の大学である関西福祉大学が実施する学生ボランティアによるこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあう活動を支援する。	

効 果	圏域内のこども達の学力向上を図るとともに、世代間交流により、社会性を備えた豊かな心を育む。					
事 業 費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	63,150	84,936	79,407	110,000	337,493
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
新型コロナウイルス感染症の国内外の感染状況を鑑み、中止することを決定した。						
令和 3 年 度 事 業 の 内 容						
○8月3日（火）・8月4日（水）に関西福祉大学で“なつやすみ宿題教室”を実施し、夏休み課題の中の「作文・読書感想文」等の文章作成について「学ぶ力」の育成を支援						
■日程別参加人数			■市町別参加人数			
日 程		人数	市 町			人数
8月3日（火）午前		20名	赤穂市			71名
8月3日（火）午後		18名	（赤穂・城西・尾崎・御崎・塩屋・赤穂西・坂越・原）			
8月4日（水）午前		23名	上郡町（山野里・上郡・高田）			14名
8月4日（水）午後		30名	備前市（伊里・香登・日生西）			6名
合 計		91名	合 計			91名
令和 4 年 度 事 業 の 内 容						
○8月1日（月）・8月2日（火）に関西福祉大学で“夏休み宿題教室”を実施し、夏休み課題の中の「読書感想文・福祉作文」等の文章作成について「学ぶ力」の育成を支援						
■市町別参加人数						
市 町					人数	
赤穂市 （赤穂・城西・尾崎・御崎・塩屋・赤穂西・坂越・原・高雄）					96人	
上郡町（山野里・上郡・高田）					12人	
備前市（伊里・香登・日生西・吉永・片上・伊部）					19人	
学校名記入漏れ					3人	
合 計					130人	
令和 5 年 度 事 業 の 内 容						
○8月1日（火）・8月2日（水）に関西福祉大学で“夏休み宿題教室”を実施し、自分の力でやり遂げられるように「学ぶ力」の育成支援を行った。						
【内 容】						
・宿題教室 ドリル、作文など						
・図工教室 ポスター、絵画、工作など						
・算数教室 小学6年生対象「割合」の学習						
【参加人数】						
市 町					人 数	
赤穂市（赤穂・城西・塩屋・赤穂西・尾崎・御崎・坂越・原）					76人	
上郡町（上郡・山野里・高田）					10人	
備前市（伊里・伊部・日生西・日生東・吉永）					27人	
圏域外					1人	
合 計					114人	

令和6年度事業の内容						
○7月30日（火）・7月31日（水）に関西福祉大学で“夏休み宿題教室”を実施し、自分の力でやり遂げられるように「学ぶ力」の育成支援を行った。 【内 容】 ・宿題教室 ドリル、作文など ・図工教室 ポスター、絵画、工作など						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
関西福祉大学の学生が、圏域内の小学生に夏休みの宿題の支援をすることによって地域との交流を図っている。赤穂市、備前市、上郡町の3会場5日程で開催し、小学生の参加者数は、令和3年度91人、令和4年度130人、令和5年度114人と、100人前後で推移しており、少子高齢、核家族、夫婦共働といった社会構造の中で、夏休中に行われる本企画のニーズは高いと判断できる。 圏域内の小学生の学力向上はもとより、世代間交流により、社会性を備えた豊かな心を育む貴重な場となっている。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計
（千円）	110	110	110	110	110	550
重要事業評価 指数（KPI）	ふれあい活動参加児童数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				114	200	

事業名	地域連携フォーラム支援事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	圏域内の大学である関西福祉大学が、「地域住民の幸せづくり」を目的として、「福祉」、「看護」、「教育」の視点から、様々な地域課題の問題解決に向けて取り組むために開催する「地域連携フォーラム」に対して支援する。						
効果	圏域内の多様な地域に関する課題に対し、地域を支える様々な分野の関係団体や、地域住民が「地域住民の幸せづくり」のために集い、話し合うことにより、問題解決の糸口を見つけるとともに、関係団体や住民相互の交流を図り、安心して幸せに暮らしていける圏域づくりを推進する。						
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計	
	77,000	—	637,895	390,239	900,000	2,005,134	
令和 2 年 度 事 業 の 内 容							

- ・新型コロナウイルス感染症の国内外の感染状況を鑑み、中止することを決定した。
- ・講演キャンセル料と印刷製本費の費用を折半で事業費を執行した。

収入

科 目	決定額	適 用
市補助金	77,000	
関西福祉大学	77,000	
計	154,000	

支出

科 目	決定額	適 用
報償費	132,000	講演キャンセル料
印刷製本費	22,000	ポスター、チラシ印刷量
計	154,000	

令和 3 年 度 事 業 の 内 容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

令和 4 年 度 事 業 の 内 容

第 7 回 関西福祉大学地域連携フォーラム 「今、しあわせに生きるということ」

実施日 11月20日（土）13:00～15:00

場 所 関西福祉大学

参加者 定員260人 （参加費：無料）

講 師 養老 孟司 氏（東京大学名誉教授）

令和 5 年 度 事 業 の 内 容

○第 8 回 関西福祉大学地域連携フォーラム

「わかりあえないことからーいま求められるコミュニケーション能力ー」

実施日 10月29日（日）

場 所 関西福祉大学

参加者 定員300人 （参加費：無料）

講 師 平田 オリザ 氏（芸術文化観光専門職大学 学長／劇作家・演出家）

令和 6 年 度 事 業 の 内 容

○第 9 回 関西福祉大学地域連携フォーラム

実施日 11月2日（土） 予定

事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応

参加者の延べ人数は、令和4年度260名、令和5年度300名であり、毎回赤穂市、上郡町、備前市の市長、町長、議長、教育長等の幹部職も参加している。3市町あけて「地域住民の幸せづくり」の為の取り組みとして圏域住民の方々に定着しつつあり、参加者アンケートからも毎回高い評価を得ている。

令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、過去2回とも圏域住民が健康で心豊かに生活することをめざす内容設定で基調講演を開催している。少子高齢化がダイレクトに影響を及ぼす地域社会にあって、圏域唯一の高等教育機関であり、福祉、教育、保健、看護の教育資源を有する関西福祉大学が、果たすべき役割は大きいことから、今後も地域連携フォーラムを足掛かりとして、「地域住民の幸せづくり」の為の連携の輪を広げていきたい。

達成状況

☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小）						
☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
（千円）	900	900	900	900	900	4,500
重要事業評価 指数（KPI）	フォーラム参加人数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				210	300	

（イ）移住の促進

○取組の内容

圏域外からの人の流れを創出し魅力ある圏域を作るため、連携して移住情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	神戸市等の主要な都市部における定住相談会の開催等により、圏域の移住情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町合同による定住相談会を大阪市等の主要な都市部で開催し、各市町で実施している定住支援策等の情報を発信し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住促進事業を実施する。					
効果	住んでみたいと感じてもらえる魅力のある圏域づくりに努め、その情報を圏域外へ発信するとともに、圏域の存在をアピールして、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。					
事業費 （円）	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	2,038,786	2,141,299	3,247,442	3,003,176	3,800,000	14,230,703
令和 2 年 度 事 業 の 内 容						
○情報発信（担当市町：備前市） 「東備西播定住自立圏 PR 業務委託」 期 間 令和 2 年 7 月 1 5 日～令和 3 年 3 月 3 1 日 内 容 ・「田舎暮らし本」 1 月号内カラー 2 ページにて 2 市 1 町の情報を発信 現地取材・移住者へのインタビュー ・WEB ページの作成 「田舎暮らし本」HP への掲載（3 ヶ月）、市町ホームページからのリンク許可						

○移住相談会（担当市町：赤穂市） 「おいでや！いなか暮らしフェア2020」※新型コロナウイルス感染拡大予防により開催中止 開催日：令和2年5月31日（日） 場 所：大阪 OMM ビル 内 容：3市町職員による定住相談会 「兵庫県・岡山県合同移住相談会」※新型コロナウイルス感染拡大予防により開催中止 開催日：令和3年1月9日（土） 場 所：大阪 OMM ビル 内 容：3市町職員による定住相談会 「JOIN フェア 2021 移住交流相談会」※新型コロナウイルス感染拡大予防により延期となり令和3年3月13日（土）にオンラインにより3市町参加（相談件数3件） 開催日：令和3年1月16日（土） 場 所：新宿住友ビル三角広場 内 容：3市町職員による定住相談会
令和3年度事業の内容
○情報発信（担当市町：備前市） ・「東備西播定住自立圏 PR業務委託」 期 間：令和3年7月1日～令和4年3月31日 内 容：・「田舎暮らし本」1月号内カラー2ページにて2市1町の情報を発信 現地取材・移住者へのインタビュー ・WEBページの作成 「田舎暮らし本」HPへの掲載（3ヶ月）、市町ホームページからのリンク許可 ○移住相談会（担当市町：赤穂市） ・「おいでや！いなか暮らしフェア2021」にオンラインにて参加 開催日：令和3年7月1日（木）～8月1日（日） 内 容：3市町職員によるオンライン定住相談会 相談件数：8件（赤穂市 4件・上郡町 0件・備前市 4件） ・「兵庫県・岡山県合同移住相談会」※新型コロナ感染拡大予防により開催中止 開催日：令和4年1月8日（土） 場 所：大阪 OMM ビル 内 容：3市町職員による定住相談会
令和4年度事業の内容
○情報発信（担当市町：備前市） 「東備西播定住自立圏 PR業務委託」 期 間 令和4年10月5日～令和5年3月31日 内 容 ・「田舎暮らしの本」1月号内カラー2ページにて2市1町の情報を発信 現地取材・移住者へのインタビュー

・WEBページの作成

「田舎暮らしの本」HPへの掲載（令和4年12月2日より3ヶ月）

市町ホームページからのリンク許可

○移住相談会（担当市町：赤穂市）

「おいでや！いなか暮らしフェア2022」

開催日時 令和4年7月31日（日） 11:00～17:00

場 所 OMMビル（大阪市）

相談件数 36件（赤穂市 13件・上郡町 7件・備前市 16件）

「ふるさと回帰フェア2022」

開催日時 令和4年9月25日（日） 10:00～16:30

場 所 東京国際フォーラム（東京都千代田区）

相談件数 27件（赤穂市 6件・上郡町 6件・備前市 15件）

「兵庫県・岡山県合同移住相談会」

開催日時 令和5年1月14日（土） 11:00～16:00

場 所 OMMビル（大阪市）

相談件数 23件（赤穂市 9件・上郡町 5件・備前市 9件）

「いなスタ2023」

開催日時 令和5年2月23日（木・祝） 12:00～17:00

場 所 OMMビル（大阪市）

相談件数 18件（赤穂市 8件・上郡町 2件・備前市 8件）

令和5年度事業の内容

○情報発信（担当市町：備前市）

「東備西播定住自立圏 PR業務委託」

期 間 令和5年10月5日～令和6年3月31日

内 容 ・「田舎暮らしの本」1月号内カラー2ページにて2市1町の情報を発信

現地取材・移住者へのインタビュー

・WEBページの作成

「田舎暮らし本」HPへの掲載（令和5年12月1日より3ヶ月）

市町ホームページからのリンク許可

○移住相談会（担当市町：赤穂市）

「おいでや！いなか暮らしフェア2023」

開催日時 令和5年7月22日（土） 11:00～17:00

場 所 OMMビル（大阪市）

相談件数 25件（赤穂市 9件・上郡町 1件・備前市 15件）

「ふるさと回帰フェア2023」

開催日時 令和5年9月17日(日) 10:00～16:30 場 所 東京国際フォーラム(東京都千代田区) 相談件数 32件(赤穂市 9件・上郡町 4件・備前市 19件) 「兵庫県・岡山県オータム移住フェア2023」 開催日時 令和5年10月28日(土) 11:00～16:00 場 所 AP 大阪茶屋町(大阪市) 相談件数 13件(赤穂市 6件・上郡町 3件・備前市 4件)
令和6年度事業の内容
○情報発信(担当市町:備前市) 「東備西播定住自立圏 PR業務委託」 期 間 令和6年7月 日～令和7年3月31日 内 容 ・「田舎暮らしの本」1月号内カラー2ページにて2市1町の情報を発信 現地取材・移住者へのインタビュー ・WEBページの作成 「田舎暮らし本」HPへの掲載(令和6年12月1日より3ヶ月) 市町ホームページからのリンク許可 ○移住相談会(担当市町:赤穂市) 「おいでや!いなか暮らしフェア2024」 開催日時 令和6年7月20日(土) 11:00～17:00 場 所 OMM ビル(大阪市) 相談件数 件(赤穂市 件・上郡町 件・備前市 件) 「ふるさと回帰フェア2024」 開催日時 令和6年9月21日(土)～22日(日) 10:00～16:30 場 所 東京国際フォーラム(東京都千代田区) 相談件数 件(赤穂市 件・上郡町 件・備前市 件)
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応
コロナ禍が終息した令和4年度以降は、相談件数の目標値を達成している。圏域外からの移住・交流人口の増加を図るうえで、大阪市等の主要な都市部で開催される相談会への参加は、圏域のPR及び移住相談の場として効果的であることから、継続して事業実施することは妥当と判断できる。 一方で、大阪市内で開催される相談会については、開催数が減少傾向にあるため、東京都で開催される全国規模の相談会(JOIN など)へ新規参加するなど、移住相談の場を確保する必要がある。 【参考】大阪開催の相談会 R4年度:3回 → R5年度:2回 → R6年度:1回(予定)
達成状況

☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☐ 継続（現状維持） ☒ 継続（改善） ☐ 継続（縮小）						
☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
(千円)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
重要事業評価 指数（KPI）	定住相談会における相談件数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				70	80	東京での移住相談会の新規参加に伴い R6 予算（3,800 千円）から 200 千円増。増額分は縁結び事業から予算振替。

事業名	縁結び事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	単独の市町では企画できない圏域の魅力ある資源を活用した出会いイベントを開催。						
効果	圏域内の魅力ある資源の再発見や圏域外への情報発信ができる。また、圏域内外の住民の縁結びのきっかけをつくる。						
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計	
	387,887	336,380	285,000	250,800	600,000	1,860,067	
令和 2 年 度 事 業 の 内 容							
○婚活イベント（担当市町：上郡町） 「バレンタインカップリングパーティー」 開催日：令和 3 年 2 月 1 4 日（日） 場 所：上郡ピュアランド山の里（上郡町） 内 容：（有）チアーズによる委託事業 東備西播定住自立圏域に在住・通勤者を優先とした年齢 3 0 歳から 4 0 歳の独身の男女が、スキルアップセミナーを受け、チョコレートを食べたりしながら交流、トークタイム後、カップリングを行った。 参加者：男性 1 5 名、女性 1 5 名、カップル成立数 7 組							
令和 3 年 度 事 業 の 内 容							
○婚活イベント（担当市町：上郡町） 「ときめき Sweets Winter カップリングパーティー」 開催日：令和 4 年 1 月 1 6 日（日） 場 所：上郡ピュアランド山の里（上郡町） 内 容：（有）チアーズによる委託事業 東備西播定住自立圏域に在住・在勤者を優先とした 2 0 代から 3 0 代の独身男女がスキルアップセミナーを受け、2 度のトークタイムを通してカップリングを行った。 参 加 者：男性 1 4 名、女性 1 2 名、カップル成立数 5 組							

令和4年度事業の内容						
○婚活イベント（担当市町：上郡町） 「料理婚活PARTY」 開催日：令和5年2月18日（土） 10:00～15:00 場所：扶桑電通なぎさホール（相生市） 内容：MarriageSalon プリムラによる委託事業 東備西播定住自立圏域に在住・在勤者を優先とした、概ね20代後半～40代前半の独身男女が、スキルアップセミナーを受け、料理教室やランチタイム、1対1のトークタイムで交流を図った後、マッチングを行った。 参加者：男性13人、女性13人、マッチング成立数8組						
令和5年度事業の内容						
○婚活イベント（担当市町：上郡町） 名称 恋人の聖地 de 春のときめきカップリングパーティ 開催日：3月10日（日） 13:00～16:00 場所：桃井ミュージアム&カフェ（赤穂市） 内容：有限会社チアーズによる委託事業 東備西播定住自立圏域に在住・在勤者を優先とした、概ね20代～30代の独身男女が、1対1のトークタイムやトクトクへの乗車、赤穂御崎でのフリータイムで交流を図った後、カップリングを行った。 参加者：男性12名、女性12名、カップル成立数5組						
令和6年度事業の内容						
○婚活イベント（担当市町：上郡町） 名称（未定） 開催日：（未定） 場所：（未定） 内容：委託業者未定 出会いの機会を創出することにより、未婚化や晩婚化の解消を図ることを目的とする。実施内容未定。 参加者：男性 名、女性 名、カップル成立数 組						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
単独の市町では企画が難しい事業であるため、連携しての実施は有益であり、開催地を圏域市町持ち回りで実施することで、各市町の魅力の再発見にもつながる。また、令和2年度以降の実績では、目標値であるカップル成立数5組を毎年度達成しており、期待されている成果をあげているため、継続して事業実施することは妥当と判断できる。 一方で、今後も継続して一定の参加者数を確保する必要があること、縁結び事業結婚祝金の支給実績が2件のみであることを踏まえると、本事業に関する効果的なPRを実施していく必要がある。						
達成状況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☐ 継続（現状維持） ☒ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	計
（千円）	400	400	400	400	400	2,000
重要事業評価	カップル成立数			現状値 R5	目標値 R11	備考

指数 (KPI)		5	5	過去 5 年の実績に基づいて R6 予算(600 千円)から 200 千円減。減額分については、定住相談会開催等事業へ予算振替。
----------	--	---	---	--

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	2 市 1 町にそれぞれ定住相談員を設置し、定住に関するさまざまな要望に迅速、的確に応えることでサービスの向上を図る。					
効果	定住相談員を専門職として設置することで、移住者に対する定住相談、情報提供、支援業務などワンストップサービス化を図ることができる。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	6,683,819	7,240,318	7,838,765	6,985,005	11,400,000	40,147,907
令和 2 年度事業の内容						
○各市町において定住相談員を各 1 名ずつ雇用（平成 28 年度～）。 ○各市町で移住を検討している方への専門窓口として、また、定住相談会へも同行し、相談や情報提供を通じた支援を行う。						
令和 3 年度事業の内容						
○各市町において定住相談員を各 1 名ずつ雇用（平成 28 年度～） ○各市町で移住を検討している方への専門窓口として、また、定住相談会へも同行し、相談や情報提供を通じた支援						
令和 4 年度事業の内容						
○各市町において定住相談員を各 1 人ずつ雇用（平成 28 年度～） ○各市町で移住を検討している方への専門窓口として、また、定住相談会へも同行し、相談や情報提供を通じた支援						
令和 5 年度事業の内容						
○各市町において定住相談員を各 1 名ずつ雇用（平成 28 年度～） ○各市町で移住を検討している方への専門窓口として、また、定住相談会へも同行し、相談や情報提供を通じた支援						
令和 6 年度事業の内容						
○各市町において定住相談員を各 1 名ずつ雇用（平成 28 年度～） ○各市町で移住を検討している方への専門窓口として、また、定住相談会へも同行し、相談や情報提供を通じた支援						
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
細やかな相談対応ができており、当協議会実施の相談会参加者以外の移住者も増えているため、引き続き、移住を検討している方への専門窓口として、各市町において定住相談員を各 1 名ずつ雇用していく。						

達 成 状 況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度 11,400	R8 年度 11,700	R9 年度 12,000	R10 年度 12,300	R11 年度 12,600	計 61,500
重要事業評価 指数（KPI）	定住相談会参加者のうち、圏域外からの移住者数			現状値 R5 12	目標値 R11 2	備考

圏域マネジメント能力の強化

【ア. 圏域内の職員等の交流】

圏域内の職員等の交流

○取組の内容

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外の専門家の招聘や、合同研修、職員交流を実施する。

備前市の役割	赤穂市の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 赤穂市と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 赤穂市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。
備前市の役割	上郡町の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 上郡町と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 上郡町が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。

事業名	職員研修事業	関係市町
		赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	職員の能力向上を図るため、圏域内の共通の課題をテーマに各市町職員を対象とした集合研修等の研修を実施する。	

効 果	職員の能力及び資質の向上を図るとともに、圏域全体にわたる事業運営の円滑化と職員間の一体感を醸成させる。					
事 業 費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	－	－	－	214,620	300,000	514,620
令 和 2 年 度 事 業 の 内 容						
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
令 和 3 年 度 事 業 の 内 容						
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
令 和 4 年 度 事 業 の 内 容						
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
令 和 5 年 度 事 業 の 内 容						
1 日 時	令和6年3月12日（火）から令和6年3月13日（水）					
2 視 察 先	福岡県糸島市					
3 内 容	先進地視察「ふるさと寄附金」					
4 参加者数	5人（備前市1人、赤穂市2人、上郡町2人）					
令 和 6 年 度 事 業 の 内 容						
1 日 時	未定					
2 視 察 先	未定					
3 参 加 者	6人 赤穂市2人、備前市2人、上郡町2人					
4 内 容	未定					
事 業 の 評 価 ・ 検 証 及 び 次 期 ビ ジ ョ ン へ の 課 題 ・ 対 応						
職員間の交流を図ることができる。 現在のビジョンでは新型コロナウイルス感染拡大もあり研修を中止せざるを得ない状況が続いたが、次期ビジョンにおいても継続して実施することで、圏域内の職員交流を実施したい。						
達 成 状 況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今 後 の 方 向 性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
	300	300	300	300	300	1,500
重要事業評価 指数（KPI）	参加人数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				5	6	

事業名	人事労務担当職員研究会（交流）事業				関係市町	
					赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	関係市町の人事担当部署が人事労務にかかる情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催する。					
効果	人事労務に係る情報交換を行うことにより、関係市町の課題に的確・迅速に対応する。					
事業費 (円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計
	－	－	－	－	－	－
令和２年度事業の内容						
○第１回研究会						
◇日時	令和２年１０月２３日（金）					
◇場所	備前市役所					
◇協議事項	休暇制度について、会計年度任用職員制度について外					
令和３年度事業の内容						
○第１回研究会						
・日時	令和３年１１月２４日（水）					
・場所	上郡町役場					
・協議事項	職員採用について、給与制度について外					
令和４年度事業の内容						
○第１回研究会						
・日時	令和４年１１月２２日（火）					
・場所	赤穂市役所					
・協議事項	正規職員と会計年度任用職員の雇用バランスについて 外					
・参加者数	５人（赤穂市 ２人・備前市 ２人・上郡町 １人）					
令和５年度事業の内容						
○第１回研究会						
・日時	令和５年１１月１７日（金）					
・場所	備前市役所					
・協議事項	障がい者雇用に係る取組みについて 外					
・参加者数	７人（備前市３人、赤穂市２人、上郡町２人）					
令和６年度事業の内容						
○第１回研究会						
・日時	未定					
・場所	上郡町役場					
・協議事項	未定					
・参加者数	６人予定（備前市２人、赤穂市２人、上郡町２人）					
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
定期的に意見交換の場を持つことは非常に有用である。 次期ビジョンにおいても、継続して実施したい。						

達成状況						
☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 (千円)	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
	—	—	—	—	—	—
重要事業評価 指数 (KPI)	参加者数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				7	6	

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	高度で専門的な知識・技術等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいする。					
効果	魅力ある圏域づくりに向け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、政策立案ができる職員等を育成する。					
事業費 (円)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	計
	—	—	—	82,871	200,000	282,871
令和2年度事業の内容						
実施見送りとしました。						
令和3年度事業の内容						
○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
令和4年度事業の内容						
1 ヤングケアラー研修会 2 「ヤングケアラーの現状と課題」 関西福祉大学社会福祉学部准教授 高田豊司氏 「沈黙のヤングケアラー～その笑顔の内側に～」 スクールソーシャルワーカー黒光さおり氏 3 日時場所 8月25日13時～ 赤穂市文化会館（赤穂化成ハーモニーホール）大ホール 4 参加者 61人 ※赤穂市健康福祉部主催事業に参加						
令和5年度事業の内容						
1 日時	令和6年1月15日（月）10時から					
2 場所	赤穂市文化会館（赤穂化成ハーモニーホール）2階学習室					
3 内容	「データ分析を活用した政策立案手法について」					
4 講師	福岡県糸島市 経営戦略部企画秘書課 岡 祐輔 氏					
3 参加者数	84人（備前市35人、赤穂市34人、上郡町15人）					

令和6年度事業の内容						
1	日 時	未定				
2	場 所	赤穂市文化会館（赤穂化成ハーモニーホール）2階学習室				
3	内 容	未定				
4	講 師	未定				
5	参加者数	未定				
事業の評価・検証及び次期ビジョンへの課題・対応						
多数の職員が一堂に会する機会にもなっており有用である。 現在のビジョンでは新型コロナウイルス感染拡大もあり研修を中止せざるを得ない状況が続いたが、次期ビジョンにおいても、継続して実施したい。						
達成状況						
☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 検討中						
今後の方向性						
☐ 継続（拡充） ☒ 継続（現状維持） ☐ 継続（改善） ☐ 継続（縮小） ☐ 継続（統合） ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 終了						
事業費【見込】 （千円）	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
	200	200	200	200	200	1,000
重要事業評価 指数（KPI）	参加人数			現状値 R5	目標値 R11	備考
				84	70	会場の都合による